

ロシアの永久凍土地帯で日本のトマトが栽培される

(スプートニク 2016年12月22日 14:55 リュドミラ サーキャン)

© Sputnik/ Konstantin Chalabov <https://goo.gl/AiSHbL>

「一年前、気温が零下40～50°にもなる冬のヤクーツクで野菜を大量栽培できると聞いたとき私は半信半疑だった。しかし日本のエンジニアらと会ってそれが可能であると信ずるようになった。19日、最初のトマトが収穫された」。ヤクーツク市長アイセン・ニコラエフ氏がフェイスブックにこのように投稿した。

日本の北海道総合商事が提供した技術による温室野菜の栽培場「サユリ」は7月、ヤクーツク近郊のシルダフ村で稼働を開始。ヤクーツクは永久凍土圏最大の都市だ。総投資額は13億3,000万ルーブル。プロジェクトの実施には北海道銀行が参加している。ヤクーツク市長アイセン・ニコラエフ氏は次のように述べた。

「最初期の優先発展特区のひとつ「カングラッスィ」がヤクーツク郊外にあり、その特徴は、メガプロジェクトが行われないことだ。これは中小企業向けの特区なのだ。我々は昨年・今年を通じて北海道総合商事と交渉した。同社が我々の条件を参考にプロジェクトの策定に当たった。今その素晴らしいプロジェクトが実現され、日本の資本と技術のもとで通年稼働の温室が機能している。冬季は我が地域では野菜は全面的に中国から輸入となる。中国からの輸入品は品質があまりよくない。クラスノダール地方から国産も入ってくるが、かえって高くつく。先日温室から最初のトマトが収穫された。最も重要なのは硝酸塩の含有量だ。許容量は1kgあたり300mgなのだが、中国産だとちょうど300mgほど。ロシア産は80～100mg。我が温室のものは日本におけるのと同様、わずか17～22mgだ。つまり環境に優しく、大人も子供もこれを食べるのが健康によいのだ。」

現在温室の面積は1.6ヘクタールだが、2019～20にはこれが倍増し、2021にはフル稼働状態になって年間2,200トンの野菜を生産できるようになる。市の野菜需要の4割をカバーする量だ。プロジェクトの優位性は、温室が優先発展特区「カングラッスィ」に位置しており、各種の大幅な税制上の優遇を受けられることだ。農業プロジェクトは通例採算がとれるまでに8年ほどの長期がかかる。しかし優遇税制のためその期間が短縮される。

アイセン・ニコラエフ氏は日本で開催された露日ビジネスフォーラムから先日帰ってきたばかり。同イベントで、氏はサハ共和国大統領とともに北海道総合商事と通年稼働の温室複合体を建設する第二および第三計画について三者協定を結んだ。すでに優先発展特区「ハバロフスク」で日露合弁企業「JGCエバーグリーン」により日本野菜が栽培されている。その最初の温室複合体のオープンは今年4月だ。環境に優しい産品がすでにハバロフスク地方住人に大人気を博している。

<http://sptnkne.ws/dcew>

大統領はトランプ氏。だが民主党は敗北を認めてはいない

(スポーツニク 2016年12月22日 15:02 タチヤナ・フロニ)

© REUTERS/ Sandy Huffaker 1/3 <https://goo.gl/T3uIpm>

米選挙人団は今週、11月8日の一般有権者の投票結果を確認し、第45代米大統領選挙に正式な終止符を打った。勝利したのは予想通りドナルド・トランプ氏。同氏は、当選に必要な過半数の270人を上回る304人の選挙人から票を得た。民主党のクリントン氏が獲得したのは232人だった。

このようにしてトランプ氏は、ホワイトハウスへの最後の正式な障害を乗り越えた。選挙人団は民主党の最後の希望だった。民主党員の一部は、このメカニズムを介してトランプ氏から勝利を奪うために、前例のない、しかし見込みのない試みを実施した。一部のクリントン支持者は、一般有権者の投票結果を拒否してトランプ氏へ反対票を投じるよう、共和党選挙人たちの説得を試みた。

第45代米大統領選の結果や衝突、また今回の選挙が今後の露米関係にどのような影響を与えるのかについて、雑誌「グローバル政治の中のロシア」の編集長フョードル・ルキヤノフ氏が「スポーツニク」に語った。ルキヤノフ氏は、米大統領選挙の主な結論は、結果の予測不可能性だとの見方を示し、次のように語っている—

「個人的には、もうサプライズは起こらないと確信していた。それは、選挙人が違う結果を出したならば、これは想像することさえ難しい規模の米国の政治的危機を意味したはずだからだ。とはいえ大統領選全体が米国の政治モデルの機能上の重大な問題を露呈させた。政党は国民の大半が満足する候補者を擁立できないことが明らかとなった。両者の不人気ぶりは稀に見るものだった。もちろん米国の選挙システムは次第に困難を伴う状況から抜け出すだろう。しかしプロセス自体は長く、政治的変動に満ちたものであるかもしれない。」

民主党は最終的な敗北を認めるだろうか？ルキヤノフ氏の答えは、「ノー」だ。同氏は、米大統領の座をめぐる争いは選挙人投票と1月の就任式では終わらないとの見方を示し、次のように語っている—

「トランプ氏は、エスタブリッシュメント（支配階級）の凄まじい怒りや敵意を引き起こしている。そのため恐らく何らかの形でトランプ氏を止めるために、非難、弾劾の試み、同氏の活動の妨害など、あらゆる手段が使われるだろう。この方向性でロシアというカードは攻撃のために意図的に選ばれた。だが非常に興味深いことに、選挙運動中にあらわれたロシアの脅威への期待は、決定的な役割を果たさなかった。ロシアの脅威というものは、米国の有権者たちを不安にさせなかったのだ。彼らは今この問題を心配してはいないようだ。そのためまさに今、上層部の戦いが始まりつつある。トランプ氏の信用を失墜させるためのすべての力の動員だ。トランプ氏が仕事をするのは彼のことをサポートしている人たちではなく当局だ。まさに当局のために今トランプ氏の最大限ネガティブなイメージがつくりあげられている。そしてこの場合、そのような種類の出版物やリークが、有権者よりも議員たちに強い影響を与える可能性がある。」

なおトランプ氏はすでに新政権の主要ポストを決定した。これは今後の露米関係にどのような影響を与える可能性があるのだろうか？ルキヤノフ氏は、次のような見方を示している—

「私は、何らかの非常にポジティブな進展には期待していない。なぜならトランプ氏にとって彼の政治的世界観の最も重要な概念は、威信と尊重だからだ。それは、もし米国を尊重しないのであれば、我々は米国を尊重させるという意味だ。これは米国の利益に反する人々への力の行使を含む激しい衝突を暗示している。そのため私は、露米関係の『蜜月』には一切期待していない。だが、1990年代から2000年代に露米関係を激しく不安定化したような、ロシアを変えて別の国にしたいという米国の願いのようなものは恐らく起こらないだろう。私はこれを主なポジティブな違いだと考えている。すなわちトランプ氏は誰のことも変えようとしなないということだ。彼には他の国がどんな国でも関係ない。トランプ氏にとって重要なのは、他の国が米国の利益を尊重することだ。」

トランプ氏という第45代大統領のその予測不可能性を、欧州は恐れている。ロシアは、同国と新大統領率いる米国の理解と相互利益の接点をどこに見出せば良いのだろうか？ルキヤノフ氏は、次のように語っている—

「この意味ではもしかしたら中東が最も有望かもしれない。トランプ氏は、いかなる体制も変えるつもりはないと一度ならず述べているからだ。同時にトランプ氏は、主要な標的は国際的テロリストだと考えている。トランプ氏のこの発言では、ロシアとトランプ氏には同氏の前任者のオバマ大統領よりもはるかに一致する点が多い。他の面では、大きな一致はないかもしれない。なぜならトランプ氏の今後の主な攻撃対象となるのは、イランと中国だからだ。トランプ氏はこれらの国に対する同氏の政策を支持するようロシアを説得するのではないかと考えている。特に中国に関してだ。でも上手くいかないのではないかと思う。したがって、すぐに複数の意見の相違が生まれるだろう。また国際舞台における米国の活動がある程度低下することで、今後何をすべきなのかまだよくわかっていない米国の欧州のパートナーたちは、確信が持てなくなるだろう。」

だが実際のところ、思想的教義ではなく、自国の具体的な利益に従うトランプ氏は、それほど予測不可能な人物なのだろうか？

<http://sptnkne.ws/dcjq>

国連委員会、アレッポ人道物資運搬車列への攻撃者を特定できず

(スプートニク 2016年12月22日 15:00)

◎ REUTERS/ Ammar Abdullah <https://goo.gl/NSvXDq>

9月、アレッポ郊外で人道援助物資を運んでいた車列が銃撃された事件で、これを調査していた

国連の捜査委員会は最終的に犯人を突き止めることはできなかった。ロイター通信が同委員会の報告書を引用して報じた。

捜査委員会は事件は空爆によるものである事は突き止めたものの、犯人は不明のまま。委員会は報告書のなかで、これが計画された攻撃であったという証拠は有していないことを明らかにしている。

報告書はさらに、米国主導の有志連合軍、ロシア航空宇宙軍、シリア空軍にはこうした攻撃を行う手段はあることを指摘している。

国連の専門家らは別記としてさらに「シリア空軍はかなり高い可能性でこの攻撃を行った」としており、攻撃は「シリアのヘリコプター「ミー17」3機によって行なわれ、それを所属不明の3機が随伴していたほか、ロシア機と疑われる1機が参加していた」と補足している。報告書には、委員会は特定の帰結には至らなかったことが強調されている。

これより前プーチン大統領は、ロシアはアレッポ郊外の人道物資運搬車列に誰が攻撃したかを知っていると公言している。

<http://sptnkne.ws/dcj7>

なぜあの時、ロシア大使に警護がなかったのか、プーチン大統領が説明【写真】

(スプートニク 2016年12月22日 17:53)

© Sputnik/ Valery Sharifulin/Pool/Tassphoto 1/2 <https://goo.gl/2MSHg2>

外交官の身の安全が保証されるのは大使館の敷地内に限定されている。プーチン大統領はトルコ駐在のアンドレイ・カルロフ大使の暗殺の当日になぜ武器を携帯したボディガードが警護していなかったのかについて、こうコメントした。

「これはどこも共通の規則で、大使館で働く武装ボディガードがつくのは大使館の敷地内のみであって敷地の外には武器を携帯して出ない。これに問題がある。しかもこれはトルコに限らず、大多数の国でこういう状態にある。」プーチン大統領は上下院の代表者らとの会合でこう語った。

大統領はいくつかの国においては「その土地での進行状況を考慮して」別の形での警護体系をロシア人外交官に用意するという合意もできただろうと語っている。

21日、ロシアのラヴロフ外相とトルコのチャヴシュオール外相が、モスクワのヴヌーコヴォ空港で、殺害された大使の遺体の入った棺を迎えた。アンドレイ・カルロフ氏の告別式が本日モスクワで開催される。式典にはプーチン大統領も参加する。

写真：駐トルコロシア大使アンドレイ・カルロフ氏の遺体を乗せた飛行機がモスクワで迎えられる
© AP Photo/ Emrah Gurel 1/9 <https://goo.gl/6yF52w>

トルコの首都アンカラで12月19日、ロシアのアンドレイ・カルロフ大使が銃撃された。大使は銃撃で負った傷が原因で死亡した。露外務省は今回の事件を、テロ行為だと指摘した。

ロシア大統領府は、トルコでのロシア大使殺害について、シリアの平和的解決のための尽力を阻止することを目的としていたと発表した。

トルコ政権は大使襲撃事件について、犯人をメヴリュト・メルト・アルトゥンタシュと特定し、すでに殲滅されたことを明らかにしている。

<http://sptnkne.ws/dcn7>

アンカラ検察、大使殺害犯の親族6人を解放

(スプートニク 2016年12月22日 17:33)

© REUTERS/ Umit Bektas <https://goo.gl/NtPJQ4>

アンカラ検察はトルコ駐在ロシア大使アンドレイ・カルロフ氏殺害事件で取り調べのため拘束していた犯人の親族を解放した。CNNトルコが22日報じた

取調べを受けていたのは犯人の父母、姉、叔父2人と片方の叔父の妻の合計6人。6人は証言を行なったあと解放された。CNNトルコが治安機関内の消息筋からの情報として報じた。6人は逮捕の根拠が見つからないとして、証言者としての扱いを受けている。

トルコの首都アンカラで12月19日、ロシアのアンドレイ・カルロフ大使が銃撃された。大使は銃撃で負った傷が原因で死亡した。露外務省は今回の事件を、テロ行為だと指摘した。

ロシア大統領府は、トルコでのロシア大使殺害について、シリアの平和的解決のための尽力を阻止することを目的としていたと発表した。

トルコ政権は大使襲撃事件について、犯人をメヴリュト・メルト・アルトゥンタシュと特定し、すでに殲滅されたことを明らかにしている。

スプートニクは消息筋からの情報として、ロシアとトルコ間のビザなし渡航の交渉は一時凍結されると報じた。

<http://sptnkne.ws/dcmt>

欧州市民の大半がこの1年で移民問題は悪化したと感じている

(スプートニク 2016年12月22日 18:32)

© AFP 2016/ Philippe Huguen <https://goo.gl/9WN7H2>

欧州諸国と米国の住民はこの1年で自国における移民問題は悪化したと感じている。スプートニク・オピニオンの調査で判明した。

国別では、イタリア（79%）、フランス（67%）、英国（53%）で否定的な受け止めが強い。ドイツやスペインでは45%、ポーランドは35%と割合が最も低かった。

逆に移住問題が好転したと見る人はドイツでわずか16%、フランス、スペイン、英国で7%、ポーランドで6%、イタリアに至ってはわずか2%だった。

不満を持つ人は右翼政党支持者と35歳以上に多かった。例外はポーランドで支持政党に目立った差はなく、ドイツでは年齢層で立場の相違があまりなかった。

米国では移住問題の悪化を認めるのは回答者の38%で、33%が何も変わっていないとし、改善したとする回答者は19%だった。

◎ 写真: Sputnik 欧州市民の大半がこの1年で移民問題は悪化したと感じている
<https://goo.gl/dpdZgU>

<http://sptnkne.ws/dcnH>

ニューヨーク・デイリーニュース記者、駐トルコロシア大使殺害に関する記事につき謝罪することを拒否

(スプートニク 2016年12月22日 20:19)

◎ Sputnik/ Vladimir Astapkovich 1/2 <https://goo.gl/QiFQMj>

ニューヨーク・デイリーニュースのハーシュ・クンツマン記者は駐トルコロシア大使アンドレイ・カルロフ氏殺害に関する記事につき謝罪することを拒否した。先にロシア外務省のザハロワ報道官が同紙に謝罪を要求していた。

ロシア外務省報道官が謝罪を要求したにもかかわらず、記者は新たな記事でプーチン大統領とロシア政府を国際法違反につき露骨な言葉で非難した。同氏によれば、大使殺害はロシアの政策の結果であり、犯人はテロリストではなく兵士である、という。

最初の記事の発表後、米国の読者から数十通の批判を受け取ったという。「アメリカよ、決断せ

よ。自由を求める闘士か、ロシアか、どちらの味方なのか」と記者は記した。

記者はロシア大使を第三帝国の大使になぞらえ、カルロフ氏殺害は「正義」によるものであるとし、記事全体がテロリストの行動を肯定していた。

<http://sptnkne.ws/dctQ>

プーチン大統領訪日の成果：若者は希望を抱き、年配者は落胆

(スプートニク 2016年12月22日 23:22 リュドミラ・サーキャン)

© Fotolia/ Yayoicho <https://goo.gl/7fr6MH>

12月19日、菅義偉官房長官は、領土問題を解決するのは簡単ではないが、両首脳は南クリルでの共同経済活動に関する協議を決め、解決に向けた大きな一歩を踏み出したと述べた。これに先立ち、首相本人も今回のプーチン大統領の訪日は「日露関係を新たな高みに導く」ものであったと述べ、首脳会談をきわめて高く評価した。

しかし同時に、共同通信が伝えた世論調査の結果では、54.3%が首脳会談の成果は否定的だと回答し、肯定的だと回答したのは38.7%だった。これは何を示しているのだろうか？

これは、日本の世論の大勢が首脳会談に対して過度な期待を抱きすぎていたことを示している。日露双方が平和条約締結と領土問題解決に向けて前進する強い決意を持っているという安倍首相の大きき発言は日本社会の一部に虚しい期待を生み、それが今や政府の行動に対する不満へと形を変えている。しかし、安倍首相の言葉に矛盾はない：彼は一貫して、しかし慎重にロシアとの平和条約締結に向けて進んでいる。そのために彼に必要なものは時間だ。安倍首相は現在すでに日本の最長寿首相の一人となっている。もし与党の自民党が2017年3月の党大会で、彼の党首任期を9年に延長することを認めれば、安倍首相は絶対的な記録保持者となり、2021年まで首相であり続けるチャンスが出てくる。もちろん、そのためにはまず2018年12月の国会議員選挙で勝利することが必要だ。

目下、プーチン大統領と安倍首相は、南クリル諸島におけるものを含め、共同経済活動が平和条約を軌道にのせるはずだという点で一致した。安倍首相によると、とりわけ四島での「特別な制度」の下での共同経済活動が平和条約締結問題の解決に向けた重要な第一歩だという。「特別な制度」が一体どのようなものなのかは、これから検討していくことであり、まだ誰にも分からない。しかし問題なのは、日本人がロシアの法律に基づき四島に企業を設立した場合、日本ではこれが四島に対するロシアの主権を間接的に認めることだと解釈される点である。また、ロシアが日本企業に対してあまりにも特権的な条件を提示した場合、今度はロシアで「我々は日本人に譲歩した」と言われてしまう。それでも、毎日新聞が伝えたところでは、約60%の日本人が領土問題解決の進展に期待している。それに対して、そのような期待は抱いていないと答えたのが29%だ。概して、最も楽観的な見方をしているのが若者である。また、現在、有権者の大半を占めている高齢者世代、とりわ

け戦前クリル諸島に住んでいた人々は「遠い未来、良い時期が来れば」ではなく、自分が生きていくうちに問題を解決してほしいと願っている。

日本在住の人気ロシア人ビデオブロガー、セルゲイ・クワエフ氏は、日本の若者がプーチン大統領とその訪日をどう考えているのかを伝えている。日本人の女の子は「平和に生きていけたらいい。フレンドシップでいいと思う」と言う。彼女にはどうして領土問題の解決がこれほど困難なのかが分からない：「ロシアはでっかい国で、ロシアの人からしたら感覚的にはちっちゃい話じゃんってなるのかなと思った。政治のことは分からないけど・・・」と彼女は言う。また、青年は「プーチンはふっくらして、かわいくなった。シャープな顔のときの方がとっつきづらいから、今の方がいい。食文化が一番国の交流が強くなると思う。ロシアもそれができれば一番」と語る。

これらのインタビューを含むストーリーは作者の YouTube チャンネルにアップされている。

クワエフ氏によると、プーチン大統領訪日のおかげで「ロシアが数日間にわたり、日本で取り上げられる話題の第1位となった。今回の訪日以前は米国についての報道ばかりで、ロシアについては否定的な伝え方しかしてこなかった日本のマスコミでさえ、ロシアとの経済協力については極めて大きく取り上げるようになった」という。

<http://sptnkne.ws/dcrJ>

プーチン大統領、MDを克服するようなミサイルポテンシャルを発展させる必要性を訴える

(スプートニク 2016年12月22日 22:55)

© Sputnik/ Alexander Vilf <https://goo.gl/dJBa7U>

プーチン大統領は国防省の会合で登壇し、既存の、および次世代のあらゆるミサイル防衛システムを克服するような戦略核戦力をミサイル複合体によって強化する必要性を訴えた。

プーチン大統領は一方で、戦略航空部隊、大陸間弾道ミサイル、核ミサイル潜水艦の3要素は十分なレベルで維持されている、と指摘。現代兵器の核戦力に占める割合は6割に上っている、とした。また、核以外の戦略的戦力も、ロシアに対するあらゆる軍事的脅威を無効にするような新たなレベルに引き上げる必要がある、と述べた。

兵士の訓練のレベルも引き上げられている。最近の演習が成功裏に実施されたことにより、テロの脅威に対するロシア南部の国境の安全性が高まった、とプーチン大統領。先に露日が早速12月合意の実施に着手したことが報じられた。

<http://sptnkne.ws/dcrW>

米国、日本にわずかばかりの敷地返還

(スプートニク 2016年12月23日 02:51 リュドミラ・サーキャン)

© AFP 2016/ Toru YAMANAKA <https://goo.gl/EqFefJ>

共同通信の報道によれば、米政権は沖縄にある米軍基地、施設の敷地の一部を日本に返還する。返還される4千ヘクタールは沖縄における米軍の占有面積のおよそ17%に相当する。現在沖縄で米軍関連施設が占める面積は2万3千ヘクタール以上。これは日本全国の点在する米軍基地、関連施設の全面積のほぼ74%にあたる。

敷地返還を大きく後押ししたのは米軍関係者らによる度重なるレイプ、地元女性らの殺害、そして米軍機の事故など、この間に起きた複数の事件だった。

事件が起きるたびに日本は米国へ抗議を表し、沖縄の住民のみならず日本全国で沖縄からの米軍基地撤廃を求める大規模な集会が行われてきた。今年6月米政権は年末までに沖縄県における米軍基地施設占有敷地の一部返還を宣言し、その返還のセレモニーは2段階方式に分けられ、第1段階が昨日21日東京で、第2段階が今日22日、沖縄県名護市で行なわれた。

在沖海兵隊司令官のローレンス・ニコルソン在日米軍沖縄地域調整官はこの敷地の一部返還について、日本指導部及び自衛隊との関係にも協力の意思にも影響しないと語っている。

日本学者で歴史学者のロシア国立人文大学のアレクサンドル・メシェリャコフ教授は、日本政権は米国との軍事同盟強化に賛同しているものの、米軍基地と隣り合わせの生活を味合わされている地元住民にしてみれば現状は気に入らないとの見方を示し、次のように語っている。

「実に多くの日本人が米国を批判するが、一方で彼らも米軍基地がなくして日本が自国の安全を独自に確保するのは困難だと理解している。日本のすぐ隣には核を保有し何をするかわからない北朝鮮と、やはり核保有国でますます国力をつけている中国、そしてやはりこれも核保有国であるロシアがある。何度日本人にロシアの核兵器はあなたたちを脅かすものではありませんよと説明したところで、その危惧感を拭い去ることはできない。

トランプ氏が米軍基地の経費を日本に負担させたいとし、さらには日韓は自力で自国を防衛すべきとする声明を表した後の日本政府のあわてぶりにはれっきとした理由がある。トランプ氏が数々の声明のどれを実行に移すのか、どれをやらないのか、米官僚らがどれくらいトランプ氏の手綱を取れるかはわからない。

また、これは仮定だが在日米軍基地が一掃される事態ともなれば、これが意味するところは日本の軍国化であり、国民の意識も動員され、もっと大変な事に核の製造まで始まりかねない。

核製造に関しては日本は技術的には問題がない。必要なのは時間と資金だ。安倍氏は現時点でも米国との同盟を拒否することなく国防力を強化する路線を採っている。自衛隊の機能を拡

大し、再軍備のために一連の法律を採択し、国防予算を拡大させている。

仮に今、安倍氏が自国民及び外国のパートナーらに軍国化の必要性を確信させねばならないとなると、最悪の場合このバリアは除去されてしまう…。」

今回の沖縄での米軍占有敷地の一部返還という行為は単に住民をなだめるためだけの象徴的なものようだ。朝日新聞の報道ではこの4千ヘクタールの土地返還に喜ぶ人は沖縄県にはあまりいない。

<http://sptnkne.ws/dcEh>

アレッポの女性が拷問を語る、テロリストには女性は人間ではなかった

(スプートニク 2016年12月22日 22:09)

© Sputnik/ Ali Hassan <https://goo.gl/QsY0ee>

アレッポ東部に住む女性がスプートニクからのインタビューに応じた。女性は、テロリストらにアレッポが占拠されていた間、自分と他の女性たちがどんな拷問に耐えていたかについて、顔をスカーフで隠しながら語ってくれた。

「私がどんな悪い事をしたというのでしょうか？」インタビューに応じてくれた若い女性はこう口火を切った。これはアレッポの町のことを指しているのではない。処刑や強姦のことを言っているのだ。おびたしい数の女性が力づくで婚姻を結ばされた。テロリストらはイスラム式の婚姻の式をさっさと終わらせると、女性を強姦し、その数時間後にはすぐに婚姻を破棄した。テロリストではない相手と結婚しようとする女性は処刑された。また女性には就労が全面的に禁じられていたため、自分と家族を養う手段が奪われていた。

市民は恐怖のどん底にいた。「車がやってきます。見ると窓から手が突き出し、それが女性の切り落とされた頭を掴んでいるのです。こうやってテロリストらは地区を回り、みんなに恐怖を植え付けていました。」

微罪を働いた人間は生きたまま7階建ての建物から突き落とされた。それで死ななかった場合、息の根が止まるまで何度も投げ落とされた。

インタビューに応じた女性は21歳。全身に凄まじい火傷の跡が広がっている。テロリストは彼女に医療行為を施すこと拒否したからだ。夫は殺害された。死体はテロリストの指示でトルコへ送られ、そこで臓器をすべて引き抜かれた。臓器が抜かれた夫の体は小さくなり、ぼろ雑巾のような姿で袋に詰められて妻である彼女の元に戻された。

シリアでの虚偽報道を誰が何の目的でどういう手法で行なっているか。これについては以下のニ

ニュースをお読みください。→ <https://goo.gl/wv5zhz>

<http://sptnkne.ws/dcyh>

プーチン大統領、アンドレイ・カルロフ大使との告別のためロシア外務省入り

(スプートニク 2016年12月22日 22:45)

◦ Sputnik/ Vladimir Astapkovich <https://goo.gl/otNG3V>

プーチン大統領はアンカラで殺害されたロシアのアンドレイ・カルロフ大使の告別式に参加した。式はロシア外務省で行われた。プーチン大統領は棺に献花し、大使に別れの言葉を述べ、遺族に哀悼の意を表した。

遺体はのち救世主ハリストス大聖堂に運ばれた。ここでモスクワ及び全ルーシ総主教キリルによる教会葬が執り行われる。

トルコの首都アンカラで12月19日、ロシアのアンドレイ・カルロフ大使が銃撃された。大使は銃撃で負った傷が原因で死亡した。露外務省は今回の事件を、テロ行為だと指摘した。ロシア大統領府は、トルコでのロシア大使殺害について、シリアの平和的解決のための尽力を阻止することを目的としていたと発表した。

<http://sptnkne.ws/dcEt>

NATO主任監察官、射殺される

(スプートニク 2016年12月23日 00:06)

◦ AFP 2016/ Geoges Gobet <https://goo.gl/SN1w0y>

ベルギーの町アンダンヌで、NATOの監査長イブ・シャンデロン氏の遺体が発見された。シャンデロン氏の遺体が発見されたのは職場から140キロ、居住地の町レンスから100キロの地点。また、遺体のそばで未登録の銃が発見され、その銃により頭部が撃たれたと見られている。

西側メディアの情報によると、シャンデロン氏は特に、テロリズムへの反資金調達問題に取り組んでいた。氏の周りの人は、氏が最近「奇妙な電話」を受けていたことを語った。先に、NATOがロシアの国境にこっそり近づいてきていることが伝えられた。

<http://sptnkne.ws/dc2A>

ロシアのカルロフ駐トルコ大使の大学時代の友人が、大使殺害に関する複数の西側マスコミの不適切な反応について語る

(スプートニク 2016年12月23日 02:01 タチヤナ・フロニ)

© Sputnik/ Iliya Pitalev <https://goo.gl/Ekx48G>

トルコの首都アンカラでロシアのアンドレイ・カルロフ駐トルコ大使が殺害された事件で、(ロシアで活動が禁止されている「ジェプハト・アン＝ヌスラ」を含む) シリアの武装連合「ジェイシュ・アル・ファトフ」が犯行声明を出した。シリアの情報ポータル breakingnews.sy が伝えた。戦闘員らが発表した声明によると、カルロフ大使を殺害したメヴリュト・メルト・アルトゥンタシュ警官は、テロ組織のメンバーだった。

たとえ大使であってもテロリストの攻撃から保護されているわけではない。なぜなら混乱の渦中の出来事であり、そこには大勢の人が居合わせた。そして浮かび上がる疑問はひとつ。次はどこにグローバル規模となった中東の紛争が「飛び火」するかということだ。その証拠は、ロシア大使が殺害された日にベルリンで起きたテロと、チューリッヒで発生した発砲事件だ。同時にこれは、米国とロシアという2つの大国へのシグナルの一つでもある。そのシグナルとは、テロリズムに対して共同で効果的に戦うためについに団結するというものだ。

米国はトルコでのロシア大使殺害を受けてすぐに同情の意を表した。米国のこのような迅速な反応は、今回の事件が最近の歴史の中で前例のないものであることを示している。テロが単独犯だったのか、それとも共犯者がいたのかを明らかにしなければならないため、調査には長い作業が必要となる。だがすでに現在、犯人が叫んだ言葉により、警官だった犯人がメディアによるたくさんの反ロシア・プロパガンダの影響下にあったことは明白だ。

アラブや西側の一連のマスコミの果てしなく続くプロパガンダは、様々な「宣伝活動家」として利用された。ロシア大使の死さえも、例外ではなかった。カルロフ大使の遺体が埋葬される前、ニューヨーク・デイリーニュースの時事解説者、ハーシュ・クンツマン氏は、トルコでのロシア大使殺害事件について、テロではなく、シリアでの「ウラジーミル・プーチン氏の罪に対する報復だ」との見解を表した。

クンツマン氏は、カルロフ大使について、大使はトルコでは外交官ではなく「兵士」だったとの考えを示し、そのためロシア大使のことで「涙が出ることはない」とし、大使が「アレppo近郊の戦場、あるいはアンカラのギャラリー」のどこで命を落とそうとも、それは問題ではないとしている。また大使を殺害した人物もテロリストではなく兵士だと指摘している。なぜならテロリストはトラックでクリスマス市に突っ込んだり、飛行機で高層ビルに突っ込んで罪のない人々を殺害し、兵士は兵士を殺害するからだという。

これらのシニカルで恥知らずの発言は驚くべきものだ！このような記事をどのように捉えたらいいのだろうか？「スプートニク」は、著名な国際問題の専門家ゲオルギー・トロラヤ氏に問いかけてみた。トロラヤ氏はカルロフ大使と同じ大学で学び、卒業後もよい友人であり続けた。トロラヤ

氏は、次のように語っている―

「アンドレイ・カルロフ氏をよく知っている人々にとって、この殺人はショックだった。私は1ヵ月前に彼のところにお客として伺ったばかりだった。私たちは計画や人生全般について語った。だが今は、アナリスト、そして政治家として個人的な感情を脇に置かなければならない。そして言わなければならない。そうだ、アンドレイは本当に戦場に倒れたと。なぜならロシア大使の殉職に関する記事に書かれている内容をみると、これは他人の不幸を喜んでいる。敵の不幸を喜んでいる。敵対者の死を理由に敵の不幸を喜んでいるのだ。恐らく敵からこれ以外の反応を期待することはできないだろう。このような記事は、ロシアと同国に対立する者たちの間で情報戦争が起こっていることを改めて強調している。残念ながら、それは自らを文明国と名乗りながらテロを奨励している国々だ。彼らはハイブリッド戦争、略奪、テロを世界中で奨励している。戦争では戦争を、ということだ。」

カルロフ大使は、トロラヤ氏と同じくコリア専門家として知られていた。カルロフ氏は東洋に精通しており、特に朝鮮半島に詳しかった。しかしなぜカルロフ氏の最後の勤務地はトルコだったのだろうか？ トロラヤ氏は、次のように語っている―

「トルコはまったく彼が専門とする地域ではなかった。しかし彼は最も信頼されている外交官の一人だった。外務省上層部から大きな信頼を得ていた。そのため彼をトルコへ派遣することが決まった。アンドレイは熱意を持って働いた。それは彼の本来的な選択ではなかったが、実際に自分の義務を果たした。彼の友人やコリア専門家の同僚、私たちにとって、これは家族の死と同じだ。」

なおロシア大使館があるアンカラの通りは、アンドレイ・カルロフと名づけられることが分かった。

<http://sptnkne.ws/dc5U>

政権軍がアレッポ完全掌握 反体制派は撤退

(スプートニク 2016年12月23日 03:41)

◎ Sputnik/ Ali Hassan <https://goo.gl/B9RKF6>

アレッポの町はシリアのアサド政権軍が完全に掌握し、反体制派の武装勢力は撤退した。先に伝えられたところによると、ロシアのラヴロフ外相は20日、トルコ、イランの外相との3カ国会談で、シリア和平に向けた政治プロセスの再開を呼び掛ける共同声明をまとめたことを明らかにした。

<http://sptnkne.ws/dc8w>

北部訓練場返還、歓迎ムードなし「オスプレイ着陸帯の完成祝賀会」と批判

(スプートニク 2016年12月23日 07:00 徳山あすか)

© AFP 2016/iji Pres <https://goo.gl/aCccLw>

22日、沖縄県名護市の万国津梁館にて北部訓練場の部分返還を記念した式典が行われた。菅義偉官房長官、稲田朋美防衛相やケネディ駐日米大使が出席した一方、沖縄県の翁長雄志知事は欠席し、オール沖縄会議が主催する「欠陥機オスプレイ撤去を求める緊急抗議集会」に出席した。

米軍の北部訓練場は沖縄県の東村と国頭村にまたがっている。今回の返還は全体の過半にあたる約4,000ヘクタールで、国頭村の方が返還部分が多い。基地の返還自体は歓迎すべきことではあるが、これは政府によって計算された祝賀ムードであるだけに、手放しに喜べない。日米両政府とも、「沖縄が本土に復帰して以来最大の返還面積であり、沖縄の基地負担を減らす」とアナウンスすることで、県民の感情を和らげ、普天間飛行場の名護市辺野古への移設を加速させたい意図があった。しかし今月13日には、オスプレイが名護市沖で不時着し大破。「不時着」か「墜落」かをめぐって論争も起きている。

スプートニクは北部訓練場返還式典に反対してきた一人、赤嶺政賢（あかみね・せいけん）衆議院議員に話を伺った。

赤嶺議員：「この北部訓練場返還式典は、オスプレイ着陸帯の完成祝賀会のような様相を帯びています。つまり『オスプレイの着陸帯6箇所を非返還区域に作ったら、北部訓練場の過半を返還する』という条件がついていたのです。先日、オスプレイが墜落した場所は北部訓練場のすぐ近くです。近くにオスプレイが墜落してなお、このような式典を行うという政府の考えは全く理解できるものではなく、政府のやり方の酷さを皆が知るところとなりました。我々は新しく作ったオスプレイ着陸帯の撤去をこれからも求めていきます。」

北部訓練場は1996年のSACO合意に基づき、過半を返還することになっていたが、その交換条件として、ヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）を返還されない区域に6箇所建設しなければならなかった。そのうち2箇所は建設済で、残る4箇所を今年の夏から作り始めたが、新ヘリパッドでのオスプレイ運用計画が明らかになっていることから、反対運動が活発に行われていた。抗議活動をする住民らと機動隊との衝突は、記憶に新しい。

部分的に基地が返還されたといっても沖縄県民に対する構造的な差別と沖縄に米軍基地の過重負担がかかっている現状そのものは変わっておらず、翁長知事は、政府は沖縄県民を国民と見ていないと激しく非難した。政府との訴訟が最高裁で敗訴したことを受けて、自らが行った辺野古沿岸部の埋め立て承認撤回を取り消さざるを得なくなった翁長知事。今後新たに生じるであろうオスプレイの騒音問題も含めて、県に立ちはだかる課題は山積みだ。

<http://sptnkne.ws/dcS3>

プーチン大統領:ロシアは今日、あらゆる潜在的侵略国より強い

(スプートニク 2016年12月23日 10:23)

© Sputnik/ Aleksey Nikolskyi <https://goo.gl/fjSxLP>

プーチン大統領は、ロシアが現在あらゆる潜在的な侵略国より強いとした上で、軍に気を緩めないよう呼びかけた。

プーチン大統領は国防省に、大陸間弾道ミサイル、弾道ミサイル搭載潜水艦、巡航ミサイル搭載戦略爆撃機という三元戦略核戦力のさらなる強化と。偵察通信システムの改良に関する次のような課題を出した。

「我々は三元戦略核戦力の強化と、対ミサイル早期警戒システムの改良の線において、航空宇宙軍で多くのこと、海・陸軍でさらに多くのことをする必要があり」とプーチン大統領は強調した。

<http://sptnkne.ws/dcDT>

トランプ氏、ツイッターで：米国は核戦力を強化すべく

(スプートニク 2016年12月23日 11:50)

© REUTERS/ Jonathan Ernst <https://goo.gl/aPY1tn>

トランプ次期米大統領は22日、ツイッターで「米国は核戦力を大幅に強化し、拡大しなければならない」というポストをした。核の役割低減を重視してきたオバマ大統領との対比が明らかになった。

twitter.com/ <https://goo.gl/M529yx>

トランプ氏は、核戦力強化は「世界が核に関して理性を取り戻すまで」だとした。だが発言の趣旨や背景、方針の具体的な説明はしていない。

トランプ氏の報道担当者は「力による平和を追求するために核抑止力を向上させる必要性を強調した」との見方を示し、核拡散を防ぐことの必要性も指摘した。ロイター通信の情報に基づいて共同通信が報じた。

トランプ氏は、冷静さや自制心に欠けると批判されており、核政策を不安視する声は多い。

<http://sptnkne.ws/dcFp>

メディア報道：ダーイシュ（IS）、トルコ兵士を生きたまま焼く

(スプートニク 2016年12月23日 15:12)

© REUTERS/ REUTERS TV <https://goo.gl/DkDqVU>

ダーイシュ（IS、ロシアでは活動が禁止されている組織）がトルコ兵士2人を生きたまま焼いた。情報ポータルトルコミニッツが報じた。2人はシリア北部アル=バブの近くで3週間前に戦闘員らに拘束された。「処刑」の映像が木曜、ダーイシュ系のSNSアカウントで公開されたという。2015年2月初頭にはダーイシュはヨルダン空軍パイロットのムアズ・アル・カサスベフ氏をやはり生きたまま焼き、動画を公開している。

<http://sptnkne.ws/dcH8>

米務省、外国エージェントに関する法律を撤回するようロシアに呼びかけ

(スプートニク 2016年12月23日 16:51)

© AP Photo/ Manuel Balce Ceneta <https://goo.gl/I684fe>

米国は、いわゆる「外国エージェントに関する法律」を撤回するようロシアに呼びかけている。ジョン・カービー国務省報道官の名で国務省ウェブサイトにはコメントが掲載された。ロシアによる「外国エージェント」のリストには19日時点で150団体が記載されているという。

カービー氏によると、「外国エージェント」という用語が組織に対して使われるとき、それは「信用できないもの」という意味を帯びる。そうしたものとしてHIV対策やエイズ対策を担う団体、拷問反対を訴える組織、渡り鳥を保護する団体さえ登録されている。

ブーチン大統領は2015年5月、望ましくない外国および国際機関に関する法律に署名した。米国でも一定の基準をもとに個人を外国人エージェントとして認定する制度がある。外国人エージェントと見なされるのは「主外国の命令・要請・指導・管理の下で」「主外国を益する政治活動に従事している」者、となっている。

<http://sptnkne.ws/dcKR>

ダーイシュ（IS）に参加しようとしたモスクワ大学の女子学生、4年半の矯正施設送り

(スプートニク 2016年12月23日 17:09)

© Sputnik/ Kirill Kallinikov <https://goo.gl/KT5jPj>

モスクワ地区軍事裁判所はモスクワ大学の元学生ワルワラ・カラウロワ氏に対し4年半の矯正

施設における自由剥奪という処分を科した。過激主義とイスラム教から離れたいという本人の希望も裁判所は信じるに足りないものとした。

この女子学生はダーイシュ（IS、ロシアでは活動が禁止されている組織）に参加しようとした。裁判官の安全確保のため、判決を下す模様は撮影されなかった。

判決によれば、のちアレクサンドラ・イワーノワを名乗ったワルワラ・カラウロワは、それがロシアの国益に否定的な影響を与えかねないと自覚しながら、繰り返しテロ組織への加入を試みた。

モスクワ地区軍事裁判所の尋問に対しカラウロワ氏は11月17日、十年生のときにリクルーターとの通信を開始したことを認めた。検事によれば、彼女はダーイシュの活動の正当性を是認していた。

彼女は2015年、ジハード主義者と結婚するべくシリアの国境を超えようとするところをトルコで拘束された。

動画 <https://youtu.be/8ZkhtoK6x04>

<http://sptnkne.ws/ddjP>

プーチン大統領の年次記者会見【動画・写真】

(スプートニク 2016年12月23日 22:22)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/hgJyTu>

プーチン大統領が、最も複雑で困難な問題について、記者たちの質問に答えます。こうした記者会見は毎年行われており、毎回3時間半以上続けられる。その間、大統領は休憩もとらず、ロシアにとって最も緊急かつ重要な問題の数々について、記者たちの質問に次々に答える。

記者会見に先立ち、ペスコフ大統領報道官は「記者会見で取り上げられる基本的なテーマは、国内の経済及び社会問題、シリア情勢、ウクライナ南部・東部（ドンバス）情勢、そして米国での選挙についてである」と伝えた。ペスコフ大統領報道官によれば、記者会見には、ウクライナや外国の多くのジャーナリストが出席する。

なおプーチン大統領は、暗殺されたロシアの駐トルコ大使、アンドレイ・カルロフ氏の葬儀出席のため、22日に予定されていた記者会見を23日に延期した。 <http://sptnkne.ws/dcMG>

<https://goo.gl/MQUxmX>

ショイグ国防相「我々は、シリア完全停戦合意達成に本腰を入れて近づいた」

(スプートニク 2016年12月23日 18:58)

© Sputnik/ Aleksey Nikolskyi <https://goo.gl/d0nnlw>

アレッポから戦闘員らを撤退させる作戦が完了し、シリアにおける完全な停戦に関する交渉を開始するための条件が作られた。プーチン大統領との会談でセルゲイ・ショイグ国防相が述べた。

「作戦はトルコとイランとの緊密なコンタクトのもと、あなたの命令通りに行われました。これからは、次のステップに行かねばなりません。我々はシリアの完全停戦合意に肉迫しています」と国防相。

<http://sptnkne.ws/dcNe>

ベルリンにおけるテロの容疑者、イタリアのミラノにおける銃撃戦で死亡【動画】

(スプートニク 2016年12月23日 22:28)

© Sputnik/ <https://goo.gl/WrDzwZ>

ベルリンのクリスマス・マーケットで行われたテロの容疑者はイタリアのミラノにおける銃撃戦で死亡した。ロイターが治安当局の情報として伝えた。金曜、日本時間の18時45分、ローマでイタリア内務大臣が記者会見を開く。

動画 <https://youtu.be/t1DCfLYWW4U>

ミラノにおける警察との銃撃戦で殺害されたベルリンのクリスマス・マーケットでのテロの容疑者、チュニジア人のアニス・アムリは、フランスから列車でミラノに来ていた。ラ・レプブリカが報じた。アムリが電車を降りたとき、警察官が通常の検査として身分証の提示を求めた。男は銃を取り出し、「アッラーは偉大なり」と叫びながら発砲。銃撃戦となり、男は死亡、警察が一人負傷した。

<http://sptnkne.ws/dcNT>

プーチン大統領：シリアにとってアレッポ解放が何を意味しているかを語る

(スプートニク 2016年12月23日 19:26)

© REUTERS/ Sergei Karpukhin <https://goo.gl/oXN7wY>

プーチン大統領は記者会見で、アレッポ解放について「シリア及び中東情勢全体の正常化の途上

における極めて重要な一歩だ」と呼び、この作戦参加においてロシア軍が果たした決定的役割を指摘した。

プーチン大統領は、ショイグ国防相との会談で「過激派集団からのアレッポ解放は、シリア国内情勢、そして望むらくはこの地域全体の完全正常化の極めて重要な要素である」と述べた。

プーチン大統領は、次のように強調した—

「今回の解放作戦は、特に、人道作戦に関するものの最終部分においては、言うまでもなく、ロシア軍の直接参加、ロシア軍の決定的参加と影響がなければ終わらなかった。」

このように述べた大統領は、ショイグ国防相に対しシリアにいるロシア軍人達に「成し遂げた仕事への最高の感謝の念と、自分が彼らの最高の幸運を願っていることを是非伝えてほしい」と頼んだ。

<http://sptnkne.ws/dcQm>

制裁は北朝鮮を戦争へと追いやる

(スプートニク 2016年12月23日 19:30 ドミトリー・ヴェルホトウロフ)

© REUTERS/ Damir Sagolj <https://goo.gl/lfy4UK>

2016年12月1日、国連安全保障理事会は北朝鮮に対する新たな制裁決議を採択した。これにより北朝鮮の貿易が大幅に制限され、輸出収入は激減し、核・ミサイル計画進展の抑制策になると考えられている。

この新たな制裁が、昨今、大きな批判を呼ぶようになった。ロシアでは、特に3月の制裁決議以降、制裁の実効性に懐疑的な見解が幾度となく聞かれてきたが、今度は韓国の専門家も慎重な発言をするようになった。私は、北朝鮮に対する制裁は効果的でないどころか、むしろ逆効果であり、朝鮮半島情勢を総じて悪化させる主要因であると考えている。

まず、制裁が効果的ではないことについて。このような方針の基礎には北朝鮮の核・ミサイル計画において輸出が重要な役割を果たしているという考え方がある。私の考えでは、これは間違いである。弾道ミサイルと核兵器の重要部品はすべて国内の材料を使って北朝鮮国内で製造されている。北朝鮮は国内に鉄鋼業を持ち、鉄鉱石と石炭の埋蔵量も有している。このほか、自国の資源基盤とコークスの欠如に適応した技術が用いられている。北朝鮮の軍事ミサイルは、その他の兵器と同様、鋼鉄製である。

北朝鮮では機械製造業が大きく発展しており、故金正日の決定により、最新の自動化加工設備が広く導入されている。これにより、あらゆる種類の工業設備（ウラン濃縮用の遠心分離機を含む）、

あらゆる種類の兵器や軍装備品を製造することができる。「指導者の現地訪問」の写真を見る限り、機械製造工場の一部は地下トンネル内に移設されているようだ。

近年、北朝鮮が石油輸入量を減少させていることは興味深い事実だ。2014年から中国は北朝鮮への石油輸出を止めており、ロシアの販売量も極めてわずかである（各種データによると2016年上半期で2万5,000トンから3万5,000トン）。それでも、例えば平壤やその他都市の自動車台数の増加を見る限り、北朝鮮に燃料不足の兆候は一切見られない。これは私の想定でしかないが、もしかすると北朝鮮は国内で石油生産を開始させることに成功したのかもしれない（埋蔵量は600～900億バレル）し、あるいは、石炭加工で得られる合成ガソリンの製造を行っているのかもしれない。少なくとも、北朝鮮は2013年以降、合成潤滑油を製造している（平壤のスリ・チョンジン社）。

また、北朝鮮は米韓の大規模軍事演習によるものを含め、常に戦争の脅威を感じているため、経済政策では外国との関係（戦争が始まれば切れてしまうことが確実）に依存しない製造業の発展と技術開発を重要視している。外国へ輸出されなかった資源は軍需に転用されるため、制裁は北朝鮮のこうした経済・軍事面での備えを後押しするだけである。

次に、制裁が逆効果であることについて。制裁はすでに、封鎖と紙一重のところまで近づいている。国連安保理決議に従って北朝鮮の港を封鎖しようとするあらゆる試みは、北朝鮮から攻撃的行動と見なされることは間違いない。

最後に、制裁という言語のみを使って北朝鮮と話をすることは、北朝鮮指導部があらゆる交渉や外交の意義を見失うことへとつながる。主要な政治手段がミサイル・核兵器と威嚇だけになってしまう。制裁で北朝鮮を追い詰めることは可能だが、その状態こそが軍事衝突の発生という観点からは最も危険な状態なのである。他に外交問題の解決手段を失った北朝鮮指導部が、最後の手段として戦争に走ることは十分にあり得る。そうなると軍事・経済的な備えが問題となり、戦争に必要な資源の貯蓄が問題となるが、それらの大部分は北朝鮮が自力で、対外貿易がなくても製造することができるものである。

このようなことから、私は、朝鮮半島の緊張緩和は北朝鮮との協力および貿易を発展させることによっても可能になると考える。活発な貿易は利益をもたらす、金正恩は緊張がエスカレートした場合にその利益が失われることを恐れるようになるだろう。さらに、客観的に見て、貿易の活性化は純粋な軍事計画から資源や原料を引きはがすことにもなる。また、軍事演習を中止し、南北対話を進展させることも極めて重要だ。

言い換えれば、兵器や威嚇を用いることができなくなるような様々な論拠を北朝鮮に与えることが必要なのである。これによって北朝鮮に核兵器を諦めさせることはできないが、その代わり、核兵器使用の脅威は消滅する。なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/dcQJ>

プーチン大統領、米国との将来の関係について語る

(スプートニク 2016年12月23日 21:27)

© Sputnik/ Aleksey Nikolskyi <https://goo.gl/Dbe9TF>

プーチン大統領は、米国の次期大統領および民主党指導部と、両国民に利益をもたらすような実務的かつ建設的な関係を構築したい、と述べた。「次期大統領および民主党の次なるリーダーたちと実務的かつ建設的な関係が築かれ、米国とロシアおよびその両国民の利益になることを望む」。プーチン大統領が大型記者会見で述べた。

米国社会についてプーチン大統領は、「伝統的な価値観についての我々の考えに同調してくれる人々がいることは良いことだ」と述べた。「なぜなら、それは露米のような大国が互いへの相互的な共感に基づいて関係を構築するための良い前提条件となるからだ」。

現在の米国の政権についてプーチン大統領は、選挙について悪者を他所に見つけようとしており、それをもって自らの尊厳を低めている、と述べた。

<http://sptnkne.ws/ddjS>

118人搭乗のリビア機ハイジャックカーメディア報道【写真】

(スプートニク 2016年12月23日 21:18)

© REUTERS/ Darrin Zamit-Lupi <https://goo.gl/6gb60N>

118人を乗せたリビア国営航空会社のアフリキヤ航空の飛行機、A320便がハイジャックされた可能性がある。同機はマルタ共和国に着陸した。ロイターがマルタのメディアを引用して報じた。メディア報道によると、ハイジャック犯と見られる2人は、機体を爆破すると脅した。犯人の要求は不明。

マルタ共和国首相は、リビアの飛行機がハイジャックされ、マルタへと進路を取った可能性があるとの通知があったと発表した。「リビア国内便がハイジャックされ、マルタへと進路を取った可能性があるとの通知を受けた」と首相はツイッターの公式アカウントに書き込んだ。

[twitter.com/ https://goo.gl/2KLFT5](https://twitter.com/https://goo.gl/2KLFT5)

[twitter.com/ https://goo.gl/yt8i5y](https://twitter.com/https://goo.gl/yt8i5y)

<http://sptnkne.ws/dcRm>

リビア機ハイジャック犯は手榴弾所持—メディア

(スプートニク 2016年12月23日 21:17)

© REUTERS/ Darrin Zamit-Lupi <https://goo.gl/IdrrZ0>

武装したハイジャック犯が1人、リビア国営航空会社のアフリキヤ航空の飛行機に乗っている。機体はハイジャックされたと見られている。マルタの「Times of Malta」紙が報じた。

ハイジャック犯は手榴弾を持っているとした上で、自身の要求が飲まれれば、機内の全乗客を解放するつもりだと述べた。ハイジャック犯の要求がどういったものなのかは、今のところ確認されていない。

twitter.com/ <https://goo.gl/gHP1rv>

ハイジャック犯はまた、リビアの元首相、カダフィ大佐の支持者であると述べた。

<http://sptnkne.ws/dcRN>

リビア機ハイジャック、乗客を解放中—メディア

(スプートニク 2016年12月23日 21:08)

© REUTERS/ Darrin Zamit-Lupi <https://goo.gl/oMslcW>

ハイジャックされ、マルタ共和国に着陸した飛行機の乗客が解放され、飛行機から現在、降りている。「スカイニュースアラビア」チャンネルが報じた。同テレビによると、ハイジャック犯らは乗員を機内に残している。

ハイジャックされたリビア国営航空会社のアフリキヤ航空の飛行機が着陸したマルタ共和国の空港からの離陸は全て中止された。

<http://sptnkne.ws/dcSG>

リビア機ハイジャック犯、カダフィ大佐の息子解放を要求—メディア

(スプートニク 2016年12月23日 22:43)

© REUTERS/ Darrin Zamit-Lupi <https://goo.gl/mPLkBM>

リビア国営航空会社のアフリキヤ航空の飛行機をハイジャックした犯人は、リビアのグループ「アル・ファティ・アル・ジャディーダ」に所属していると述べ、カダフィ大佐の息子サイフ・アル・

イスラムを刑務所から解放するよう要求している。ニュースサイト「el Bilad」がリビア人筋の情報を基に報じた。

twitter.com/ <https://goo.gl/RQWdmg>

先に、118 人を乗せたリビア国営航空会社のアフリキヤ航空の飛行機、A320 便がハイジャックされた可能性がある と伝えられた。

<http://sptnkne.ws/dcTs>

リビアハイジャック機から 65 名の乗客が解放—マルタ共和国首相【ライブ中継】

(スプートニク 2016 年 12 月 23 日 23:17)

© AFP 2016/ Matthew Mirabelli <https://goo.gl/xHKZyp>

マルタ共和国のジョゼフ・ムスカット首相は、同共和国空港に着陸した、ハイジャックされたりビア機から 65 名の乗客が解放されたと発表した。

動画 <https://youtu.be/Yww8PQ4siK0>

マルタ共和国のジョゼフ・ムスカット首相は、同共和国空港に着陸した、ハイジャックされたりビア機から 65 名の乗客が解放されたと発表した。先に、118 人を乗せたリビア国営航空会社のアフリキヤ航空の飛行機、A320 便がハイジャックされた可能性がある と伝えられた。

<http://sptnkne.ws/dcVk>

ソーシャルネットワークユーザーら、少女バナさんの父親とダーイシュ (IS) の結びつきを発見

(スプートニク 2016 年 12 月 24 日 00:14)

© AFP 2016/ Stringer <https://goo.gl/Jap15c>

先日トルコのエルドアン大統領のソーシャルネットワークページに少女バナ・アラベドさんとその家族をアンカラの大統領宮殿で写した写真が掲載された。

ソーシャルネットワークのユーザーらが少女の父親が戦闘員らに取り巻かれ、手に銃を持って座っている写真を掲載した。どちらの写真でも男性の顔は赤丸で囲まれている。

twitter.com/ <https://goo.gl/Ezqnea>

フェイスブックの別のユーザーは少女の父親がテロリストらと写った写真を複数同時に掲載。少女自身の姿もあり、やはり戦闘員らに取り巻かれている。

twitter.com/ <https://goo.gl/Kcy6QU>

フェイスブックのユーザーは、少女が以前ツイッターで父は死んだと書いていることを指摘。しかし父親は健在で、トルコに暮らしている。

facebook.com/ <https://goo.gl/IlYs74>

ある写真では、少女の父親が銃をもち、背後にはダーイシュ（IS）の旗が見える。

facebook.com/ <https://goo.gl/9WVt6w>

バナさんは7歳。母のファティマさんは英語教師で、9月に娘のツイッターアカウントを作成した。当時アサド軍はロシアの支援を受け蜂起勢力に支配された市東部への襲撃を開始していた。バナさんは市で起きていることを英語で「虐殺」だと書いた。数ヶ月で彼女のフォロワーは35万人になった。

facebook.com/ <https://goo.gl/puehPy>

バナさんがメディア・プロパガンダであるかどうかは先に報じられた。

twitter.com/ <https://goo.gl/k118vQ>

シリア的捏造：誰が、いかに、何のためにシリア紛争について偽情報を流しているのか？

<http://sptnkne.ws/dcWF>

リビア機ハイジャック犯と最後の乗員が機体を離れるーマルタ共和国首相

(スプートニク 2016年12月24日 00:17)

© REUTERS/ Darrin Zamit-Lupi <https://goo.gl/kMp8sB>

リビア機のハイジャック犯と見られているものたちと、最後まで機内に残っていた乗員たちが飛行機から降りる。マルタ共和国のジョゼフ・ムスカット首相がツイッターの公式アカウントに次のように書き込んだ。

「最後の乗員たちがハイジャック犯たちとともに機体を離れる。」

リビア国営航空会社のアフリキヤ航空のセブハ発トリポリ着の国内便はハイジャックされ、マルタ共和国へ進路を変更した。

<http://sptnkne.ws/dcZd>

ロシア軍警察、アレッポに到着

(スプートニク 2016年12月24日 05:01)

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <https://goo.gl/qTtFBu>

ロシア国防省は、軍警察大隊がシリアでのミッション実行のためにアレッポに到着したと発表した。「現在、部隊はシリアにおけるロシアの紛争当事者和解センターでのタスクを実行するために、フメイム空軍基地からアレッポまでの行進を完了した」と国防省は発表した。

同省は、軍警察はロシアの国際地雷対策センターの専門家や軍人、野外病院のスタッフ、アレッポにやってくる人道支援物資を積んだトラック隊の安全を保障することになると指摘した。

<http://sptnkne.ws/ddjs>

ドイツ ショッピングセンターでのテロ準備の疑いで2人を拘束

(スプートニク 2016年12月24日 06:39)

© AP Photo/ Markus Winkler <https://goo.gl/1wos0Q>

ドイツ警察は、ノルトライン＝ヴェストファーレン州デュースブルクで、ショッピングセンターでのテロを準備していた疑いで2人を拘束した。週刊誌「シュピーゲル」が伝えた。同誌の情報では、28歳と31歳の男性が現地時間で0時45分に拘束された。

拘束された男性二人は兄弟で、旧ユーゴスラヴィア・コソヴォ出身者だという。ドイツ警察は、二人がオーバーハウゼン市にあるショッピングセンターでテロ行為を計画していたと見ている。報道によれば「現在、準備がどの程度進み、他にも共犯者はいたのかどうかを明らかにするため調査が続けられている」。

ドイツ警察は、木曜日にエッセンの捜査本部が、特務機関からテロ準備の情報を得たと確認した。その後、ショッピングセンターとその周囲のクリスマス・マーケットに追加の警察隊が投入され、警備が強化されていた。

月曜日の夕方、首都ベルリン中心部で、クリスマス・マーケットにトラックが突っ込むという事件が起き、12人が亡くなり48人が病院に搬送された。ドイツ当局は、この事件についてテロリスト

の犯行であると見ている。

<http://sptnkne.ws/ddk3>

ペスコフ報道官:プーチン大統領は米国との対話を待っている

(スプートニク 2016年12月24日 07:32)

© AP Photo/Alexei Druzhinin/Sputnik, Kremlin Pool <https://goo.gl/bxe0Py>

プーチン大統領は米国側との対話を待っているとし、ロシアのペスコフ大統領報道官が次のように述べた。

「彼(プーチン大統領)は建設的な協調の準備ができている。対話を待っている。」

ペスコフ報道官によると、ロシア政府の「誰も過剰な楽観主義に耽ってはいない」が、対話発展の政治的意思はある。

<http://sptnkne.ws/ddk4>

トランプ氏、米国の核戦力強化についての声明を説明

(スプートニク 2016年12月24日 09:31)

© REUTERS/ Jim Young <https://goo.gl/5vRfXD>

ドナルド・トランプ次期大統領は、核兵器分野での能力拡大についての先の声明を説明し、軍拡競争の場合、米国はあらゆる点において他のプレーヤーを上回ると述べた。ロイターが報じた。「軍拡が起こるなら起こればいい。我々はあらゆる面で上回り、誰よりも長く生きる」とMSNBCテレビに対し述べた。先にトランプ氏はツイッターに、「世界が核に関して分別を取り戻すまで」米国は核兵器能力を格段に強化拡大する必要があると書き込んだ。

<http://sptnkne.ws/ddk5>

トランプ米次期大統領 プーチン大統領からの書簡を「大変うれしい」

(スプートニク 2016年12月24日 15:30)

© Flickr/ Gage Skidmore <https://goo.gl/7DT8Em>

米国のトランプ次期大統領は、プーチン大統領からの書簡について「大変うれしい」と述べ、そ

の中に書かれている考えを堅持するよう求めた。新聞 USToday が報じた。

トランプ次期大統領は「プーチン大統領から書簡をもらい、とてもうれしい。彼の考えは、とても正しい」と述べた。またトランプ次期大統領は、米国とロシア双方が、手紙の中で言及された考えを堅持でき「代替の道」を行かないよう自分は望んでいる、とも語った。

<http://sptnkne.ws/ddph>

プーチン大統領 アレッポ解放後のシリア調整問題をロシア安全保障会議メンバーと討議

(スプートニク 2016年12月25日 04:25)

© Sputnik/ Maxim Blinov <https://goo.gl/ghVAJu>

プーチン大統領は、シリア調整問題並びに、月曜日に迫ったユーラシア経済同盟及び集団安全保障条約機構（C S T O）サミットに向けた準備について、ロシア安全保障会議常任メンバーと討議した。ドミトリイ・ペスコフ大統領報道官が伝えた。

報道官は次のように述べた—

「協議では、アレッポを戦闘員から解放するシリア軍の作戦が終了したことを踏まえた、シリア調整の行方について話がなされた。またシリア調整の枠内においてアスタナで会合を開く準備プロセスについても意見が交換された。さらにロシア国内の社会経済的問題のいくつかも、協議では取り上げられた。」

<http://sptnkne.ws/dd6Y>

仏大統領候補ルペン氏:仏は EU と NATO 離脱

(スプートニク 2016年12月25日 05:34)

© AP Photo/ Claude Paris <https://goo.gl/DXGh3u>

フランスはNATOとEUを離脱する必要があり、ユーロゾーンは他国と同時に抜ける必要がある。国民戦線のマリーヌ・ル・ペン党首がそう述べた。24日、ルペン氏は2017年4月23日と5月7日に行われる大統領選挙参加の意思を再び示した。氏は大統領の最有力候補の1人だと考えられている。氏の意見によると、ポルトガルとイタリア、スペイン、アイルランド、ギリシャ、キプロスがフランスの例に従うはず。

「これらすべての国がフランスと同じ日に離脱することが理想的だ。説得してみる。」

ルペン氏によると、人々はEUからの経済的なものも含む隷属と恐喝からの解放に対して投票し、国の主権を取り戻す可能性を有する必要がある。

<http://sptnkne.ws/dd6p>

ロシア大使殺害事件：ロシアとトルコの特務機関が密接に協力し調査続く

(スプートニク 2016年12月25日 06:02)

◦ Sputnik/ Iliya Pitalev <https://goo.gl/gdlbxP>

トルコのエルドアン大統領は、プーチン大統領に、駐トルコロシア大使アンドレイ・カルロフ氏殺害事件調査の進展ぶりについて伝えた。両大統領は、この問題を電話で話し合った。ロシア大統領報道部が伝えた。特にエルドアン大統領は、トルコとロシアの治安維持及び特務機関が、互いに密接に協力し合って作業を進めていることを指摘した。また、プーチン、エルドアン両大統領は、シリア情勢についても意見を交換した。両大統領は、アレッポでの作戦が終了したことについて、それによってシリア全土での戦闘行為の停止、さらには政治調整への移行に向け、好ましい諸条件が作り出されるだろうとし、満足感を表した。

<http://sptnkne.ws/dd7a>

日露関係良好が増加—日本内閣府世論調査

(スプートニク 2016年12月25日 07:34)

◦ 写真: Host photo agency <https://goo.gl/SM2dKL>

日本の内閣府が行った外交に関する世論調査で、日露関係が良好だと答えた人は今年1月の前回の調査と比べて6ポイント上がった。NHKが報じた。現在、日露関係が良好だと考えている人は27.8%。日露関係が良好だとは考えない人は65.2%で、先の調査より5.8ポイント下がった。調査は日露首脳会談に先立つ10月から11月にかけて、全国18歳以上の男女3,000人を対象に行われた。

<http://sptnkne.ws/dd6m>

トルコ大統領 シリア北部に新たな国家づくりを許さないことを約束

(スプートニク 2016年12月25日 08:34)

◦ AFP 2016/ Turkish Presidential Press Office <https://goo.gl/Ll1fv1>

トルコのエルドアン大統領は、シリア国内に何らかの自治区を作ることに反対する姿勢を改めて

明らかにした。土曜日、アナドル通信が伝えた。

エルドアン大統領は、イスタンブールで開かれた対外経済関係評議会会議で発言し「トルコは、シリア北部に新しい国家が作られることを許さないだろう」と述べた。

トルコは、シリア北部で軍事作戦を展開しているが、その目的は、イスラム過激派戦闘員らから国境地区を解放するためだとしている。しかし現地の観測筋は「トルコの行動は、トルコ国内でテロリストとされている武装したクルド人義勇兵にも向けられたものだ」と指摘している。

<http://sptnkne.ws/dd7c>

プーチン大統領の記者会見について南米の専門家「ロシアは再び主要な政治プレーヤーとなった」と評価

(スプートニク 2016年12月25日 09:01)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <https://goo.gl/J7w9q2>

著名なアルゼンチンのジャーナリストで国際情勢分析専門家のペドロ・ブリガー(Pedro Brieger)氏は、プーチン大統領の年次記者会見から受けた印象をスプートニク記者に語った。

彼は次のように述べた—

「ロシアは、ここ数年の間に、国際社会における主要な政治プレーヤーに返り咲いたことを示した。それを理解するためには、シリアで起きていることを見れば十分だ。今回の年次記者会見は、ロシアが世界政治の場で成功を示している、まさにその時に、ロシアと欧米との関係が戦術的变化を体験するのではないかとの期待がなされている、その時になされた。NATOの東方拡大に対するプーチンの答えは、彼あるいは彼の立場にいるあらゆる人から期待できる、当たり前前の反応と言えると思う。」

<http://sptnkne.ws/dd7d>

露・中、橋で繋がるように

(スプートニク 2016年12月25日 10:29)

© Sputnik/ Aleksander Kryazhev <https://goo.gl/u6N3Q7>

中国国境に近いロシア極東アムール州都ブラゴベシチェンスクで、アムール川をまたぎ同市と中国・黒河市を繋ぐ橋の建設が開始した。橋は3年で建てられる予定。

メインブリッジの長さは1キロ以上。企業、工場から公道までの専用道路を含む総全長は約20キロ。建設は3段階からなる。まず橋本体の建設、その後は企業の専用道路、最後に両端での料金所設置。ロシアの費用は136億ルーブル（約262億円）、中国は52億ルーブル（100億円）となる。

<http://sptnkne.ws/dd7e>

米週刊誌「タイム」 ウクライナ大統領を賄賂行為で批判する論文を掲載

（スプートニク 2016年12月25日 11:07）

© Sputnik/ Mikhail Markiv <https://goo.gl/9tThj2>

米国の週刊誌「タイム（Time）」は、ウクライナの議会、最高会議のアレクサンドル・オニシチェンコ議員の論文を掲載した。その中で同議員は、ウクライナのポロシェンコ大統領の賄賂問題を取り上げ、非難している。

論文の中でオニシチェンコ議員は「ポロシェンコ大統領が、巨額の汚職に関与している事を証明する、自分は生き証人だ」と主張している。議員は「リベート支払いを拒否した人間は、大統領サイドからの意図的な攻撃にさらされた」と指摘し「ポロシェンコ氏は、私も刑事犯として告発するよう委任した」と付け加えた。

<http://sptnkne.ws/dd7g>

メルケル首相、警備に囲まれジャガイモ買う様子を「キャッチ」される【写真】

（スプートニク 2016年12月25日 12:01）

© AP Photo/ Michael Probst <https://goo.gl/vhKGhx>

ベルリン市民は普通のスーパーでメルケル首相に出会うという幸せに恵まれたかもしれない。独ビルト紙が報じた。

<https://goo.gl/2ZwTpF>

ボディガードに囲まれたメルケル首相はジャガイモ、ピーマン、カッターチーズ、お菓子を買っていた。マイバック持参で来店した模様。目撃者の証言によると、メルケル首相はクリスマス用品をなにも買わなかった。クリスマスの伝統的なごちそうだと考えられているのはドイツではワインとガチョウ。3人のボディガードが首相に付き添い、一時もそばから離れなかった。

<http://sptnkne.ws/ddDD>

92人が乗ったロシア軍のツポレフ 154 型機 黒海に墜落

(スプートニク 2016年12月25日 20:11)

© Sputnik/ Nina Zotina <https://goo.gl/JHtsG3>

消息を絶ったロシアのツポレフ 154 型機の脚部の破片が、ソチ沿岸から約 1.5 キロの黒海で見つかった。また消息筋は、破片の近くで、墜落後に現れたと思われる油膜が見つかったと語った。

国防省の情報によると、同機には、ロシアの主要テレビ局「第 1 チャンネル」と「スヴェズダー」のジャーナリストらマスコミ関係者 9 人のほか、ロシア軍人、著名なアーティスト集団「アレクサンドロフ・アンサンブル」のメンバーが搭乗していた。

同機は、シリアにあるフメイミム基地に向け、ソチの空港をモスクワ時間 25 日午前 5 時 20 分に飛び立ち、約 20 分後にレーダーから消えた。同アンサンブルはロシア軍所属の「アレクサンドロフ記念ロシア軍の歌と踊りのアンサンブル」で、シリアの作戦に従事するロシア軍人たちのために、新年を祝福する予定だった。

<http://sptnkne.ws/dd7Z>

訂正：墜落した Tu-154 機の搭乗者数は 92 人

(スプートニク 2016年12月25日 20:13)

© Sputnik/ Nina Zotina <https://goo.gl/B8iG2W>

ソチ近郊で墜落したロシア国防省のツポレフ 154 型機には、ロシア国防省の確認されたデータによれば、乗客 84 名、乗員 8 名が乗っていた。ロシア国防省のイーゴリ・コナシェンコフ報道官は「事故機には、乗客 84 名と乗員 8 名が搭乗していた」と伝えた。

<http://sptnkne.ws/dd8S>

確認情報によれば Tu-154 型機は離陸後 7 分以内に海中に落下

(スプートニク 2016年12月25日 20:23)

© Sputnik/ Nina Zotina <https://goo.gl/iTHkxv>

ロシア国防省の Tu-154 型機は、確認された情報によれば、離陸後およそ 7 分以内に黒海に墜落した。落下場所は、アナパ付近。リアーノーヴォスチ通信が、治安関係筋の情報として伝えた。

twitter.com/ <https://goo.gl/Ed7RJ2>

情報筋によれば「確認された情報によれば、Tu-154 型機は、飛行後 7 分以内にアナパ沖 5 キロの深さ 50 メートルから 100 メートルの黒海に落下した」。なおアナパはロシア連邦の南部、クラスノダール地方にある黒海北岸の都市。また情報筋は「航空機の残骸は、海岸沿い 1.5 キロにわたり散乱し、それらは水深 50 メートルから 100 メートルの場所にある」と伝えた。

<http://sptnkne.ws/ddDZ>

プーチン大統領 ソチ沖での Tu-154 型機墜落による犠牲者の親族・近親者に深い哀悼の念を表明 —大統領報道部

(スプートニク 2016 年 12 月 25 日 18:40)

◎ Sputnik/ Alexei Nikolskiy <https://goo.gl/bmLESL>

ロシアのプーチン大統領は、ソチ近郊に露国防省の Tu-154 型機が墜落したのを受け、遺族や近親者に哀悼の意を表した。露大統領府広報部が発表した。

声明の中では、「大統領は航空機事故の犠牲者の遺族や近親者に最も深い哀悼の意を表した」と述べられている。消息を絶ったロシアの Tu-154 型機の脚部の破片が、ソチ沿岸から約 1.5 キロの黒海で見つかった。

<http://sptnkne.ws/ddSF>

墜落した Tu-154 型機乗客・乗員生存の可能性はなし—情報筋

(スプートニク 2016 年 12 月 25 日 19:41)

◎ Sputnik/ Vitaliy Belousov <https://goo.gl/Eyr4DE>

黒海に墜落したロシア国防省の Tu-154 型機に搭乗していた乗客・乗員が生き残る可能性は、事実上なかった。今回の事故に対応している複数の情報筋が、インターファクス通信に伝えた。

取材に応じた関係者は「Tu-154 型機搭乗者には、生き残るチャンスが事実上なかった」と説明している。

先の報道によれば、Tu-154 型機は、黒海上空での演習の際、アナパ沖に墜落した。

<http://sptnkne.ws/ddBj>

プーチン大統領 メドヴェージェフ首相に Tu-154 型機墜落に関する調査委員会を率いるよう指示する

(スプートニク 2016 年 12 月 25 日 19:41)

© Sputnik/ Dmitriy Astakhov <https://goo.gl/Du8Yx6>

ロシアのプーチン大統領は、露国防省の Tu-154 型機が黒海に墜落したのを受け、メドヴェージェフ首相に事故調査に関する国の委員会を設立し、同委員会を率いるよう指示した。露大統領府が発表した。

乗客 84 人、乗員 8 人が搭乗した Tu-154 型機は、モスクワ時間で 12 月 25 日 5 時 20 分にソチ市近くのアドレル空港からシリアにあるフメイミム基地に向かって飛び立ったが、離陸から 6 分以上が経過した後、黒海に墜落した。

<http://sptnkne.ws/ddSJ>

露国防省 露軍機 Tu-154 のパイロットについて語る

(スプートニク 2016 年 12 月 25 日 20:09)

© Sputnik/ Mikhail Melnichuk <https://goo.gl/f7JYGe>

黒海に墜落した露軍機 Tu-154 型機を操縦していたのは、一等飛行機操縦士のロマン・ヴォルコフ氏だった。露国防省が発表した。

露国防省は、「露国防省の軍用輸送機 Tu-154 型機を操縦していたのは、経験豊富なパイロットのロマン・アレクサンドロヴィチ・ヴォルコフ氏だった。ロマン・ヴォルコフ氏は、一等飛行機操縦士で、合計飛行時間は 3,000 時間以上だった」と発表した。

ヴォルコフ氏は、同機で何度もシリアへ飛行した。また同機は、シリアにあるフメイミム基地で戦闘航空部隊の移動の際にリーダー機などとして使用された。

<http://sptnkne.ws/ddDc>

露軍機 Tu-154 の墜落現場に生存者はいないもようー露国防省

(スプートニク 2016 年 12 月 25 日 21:48)

© Sputnik/ Nina Zotina <https://goo.gl/0smQZc>

25 日、露軍機 Tu-154 が黒海に墜落した。露国防省は 25 日、墜落現場で生存者は確認されていない

いと発表した。

露国防省の声明では、「Tu-154 の航空機事故の領域は確定されている。生存者は確認されていない」と述べられている。

また露国防省は、4人の遺体が引き上げられたと伝えた。

twitter.com/ <https://goo.gl/SRc7H1>

<http://sptnkne.ws/ddDT>

Tu-154 型機墜落事故犠牲者を追悼する喪の日と発表

(スプートニク 2016年12月25日 21:48)

© Sputnik/ Aleksey Nasyrov <https://goo.gl/bFlVwd>

プーチン大統領は、明日26日、月曜日を、ソチ沖でのTu-154型機墜落事故犠牲者を悼む喪の日とすると発表した。大統領は記者団に対し「明日ロシアは、社会全体で喪に服するだろう」と伝えた。ロシア軍のTu-154型機は、ソチ市近くのアドレル空港から離陸後、7分以内に墜落した。

<http://sptnkne.ws/ddFc>

プーチン大統領：Tu-154の墜落原因は綿密に調査される

(スプートニク 2016年12月25日 22:05)

© Sputnik/ Sergei Guneyev <https://goo.gl/XiOpM0>

ロシアのプーチン大統領は、黒海に墜落した露軍機Tu-154型機の事故原因は綿密に調査されると述べた。「Vesti.ru」が報じた。

大統領は、「事故原因の綿密な調査が行われ、遺族を支援するために全てのことが行われている」と述べた。またプーチン大統領は、政府に委員会の設立が指示され、ソコロフ運輸相が同委員会を率いると指摘した。

先に伝えられたところによると、プーチン大統領は12月26日をTu-154型機の犠牲者を悼む服喪の日とすると発表した。

<http://sptnkne.ws/ddSQ>

マスコミが Tu-154 の破片が広い範囲に飛散した理由を説明する

(スプートニク 2016年12月25日 22:43)

© Sputnik/ Nina Zotina <https://goo.gl/7qIiz3>

ソチ沖に墜落した Tu-154 型機の破片が広い範囲に飛散したことについて、緊急対応機関筋は、水面に打ち付けられたことを意味しているとの見方を表した。また別の治安機関筋は、テロはほぼ不可能であるため、テロの可能性は主な原因として考えられていないと伝えた。

ロシア軍の Tu-154 型機は、ソチ市近くのアドレル空港から離陸後、7分以内に墜落した。

<http://sptnkne.ws/ddGe>

ドイツ南部 第二次大戦後最大の住民避難行われる

(スプートニク 2016年12月25日 23:12)

© AP Photo/ Hermann J. Knippertz <https://goo.gl/HYtEpF>

日曜日ドイツ南部アウクスブルクでは、第2次世界大戦中に投下された英国の爆弾が、街の中心部で発見されたため、住民およそ5万4千人以上が、避難する騒ぎとなった。BBCが伝えた。こうした住民の大量避難は、ドイツでは第二次世界大戦終結以来初めてのことだ。

手元に届いている情報では、爆弾の重さは1.8トン、1944年の連合軍による空爆の際、市内に投下されたもので、当時街は、この空襲により、ほぼ完全に破壊された。

ドイツ警察は、爆弾の無害化にどれだけ時間がかかるか、今のところ誰にもわからないとしている。

<http://sptnkne.ws/ddGE>

露上院議員 Tu-154 型機墜落事故原因のあり得る2つの説

(スプートニク 2016年12月25日 23:32)

© Sputnik/ Н и н а З о т и н а <https://goo.gl/B9GAN5>

ロシア議会上院・連邦会議国防・安全委員会のヴィクトル・オゼロフ委員長は、25日、黒海に墜落したロシア軍機 Tu-154 型機の事故原因について、技術上の不備あるいはパイロットの操縦ミスの2つが考えられると述べた。リアノーヴォスチ通信が伝えた

オゼロフ上院議員は「事故機は、離陸後、黒海上空で方向転換を行った。おそらく必要な軌道に入れなかったのだろう」と推測している。

なお上院議員は、機内でテロが起きたという説は否定し「ロシア国防省機が、それもロシア連邦領空内で、そうしたテロを許すなどありえない」と強調した。

先に伝えられたところでは、日曜日、プーチン大統領は、Tu-154 型機墜落事故の原因について、注意深く調査することを約束した。

<http://sptnkne.ws/ddHJ>

「ロシアの誇り」軍合唱団のほぼ全員が航空機事故死 約 90 年の歴史を振り返る【写真、動画】 (スプートニク 2016 年 12 月 26 日 07:01)

© Sputnik/ Vladimir Vyatkin <https://goo.gl/J72Ft1>

12 月 25 日、ソチ沖で起きた航空機事故で、ロシア軍合唱団のメンバーほぼ全員が死亡した。航空機には合唱団のソリスト 3 人を除くメンバー 65 人が搭乗していた。

「スプートニク」が、ロシア軍合唱団の歴史を振り返る。

ロシア軍合唱団は約 90 年の歴史の中で、ソ連およびロシアの最も輝かしいシンボルの一つとなった。

合唱団の初舞台は、1928 年 10 月に「赤軍中央会館」で行われた。当時合唱団の名称は、「M. V. フルンゼ記念赤軍中央会館赤軍の歌アンサンブル」だった。

<http://sptnkne.ws/ddR8>

日本の 2017 年度予算案 防衛費と対露経済プロジェクト費が記録的な額に (スプートニク 2016 年 12 月 26 日 08:31 リュドミラ・サーキャン)

◎ 写真: Japanexperterna.se <https://goo.gl/tgBtuU>

22 日、日本政府は、2017 年度予算案を閣議決定した。一般会計の歳出総額は 97 兆 4,547 億円と記録的なものとなった。この数字は、今年度より 7,330 億円多く、5 年連続で過去最高を更新した。防衛関係費と社会保障費が、記録的な伸びを見せた。また初めて、予算案の中に、対露共同経済プロジェクト予算も組み入れられた。

防衛関係費は、5兆1,251億円と、戦後最大となった。おまけにこれは、5年連続の伸びだ。日本の防衛費拡大については、直面する北朝鮮や中国からの脅威が、その理由として挙げられている。

新しい予算に従って、日本の防衛省は、海上及び地上発射の対ミサイル防衛手段を強化するほか、米国との共同プロジェクトの枠内で新型迎撃ミサイル開発のためにも資金を割く意向だ。

また新世代の戦闘機F-35も購入する計画だ。それ以外に、中国が領有権を求めている東シナ海の複数の無人島防衛のために予算が割かれる。状況のモニタリング強化のため、小規模な海兵隊のような組織が作られる見込みだ。そのため米国製の水陸両用強襲車 (Amphibious Assault Vehicle) 11両、垂直離着陸輸送機オスプレイ4機が購入される。また防衛予算が増えたことで、南シナ海の状況に関連した情報を収集・交換する活動強化を目的として、フィリピンやベトナムに追加的に人員を派遣することも可能になるだろう。

2017年度予算では、34兆4千万円という記録的な額が、年金や医療、社会保障費として割かれる見込みである。これは、防衛費の6.3倍にあたり、歳出の3割超を占める。日本の国立がんセンターのデータによれば、国のがん対策プログラムのおかげで、がんによる死亡率が、この10年間でほぼ16%減少した。また興味深いことに、日本でカジノが合法化されたことを背景に来年度予算では、パチンコなどに対する依存症治療のための予算も初めて割かれた。

さてロシアとの経済協力に関してだが、プロジェクト案実現に向けて、およそ35億円が見込まれている。国土交通省は、都市のインフラ発展に向けたプロジェクトに約1億円を割くことになるだろう。また農林水産省は、漁業及び食品産業における協力予算として約6億円を支出する。さらに文部科学省は、エネルギープロジェクトの実現や原子の廃炉、それに向けた協議、学生交換などに4億7千万円を割くことになる。

税収は57兆7,120億円と見積もられている。なお新規国債の発行額は34兆3,698億円と、16年度から622億円減る見込みだ。閣議での承認後、来年度予算案は、衆参両院での審議に回される。

グローバリゼーション・社会運動研究所経済調査センターの専門家、ワシーリー・コルタシヨフ氏の意見によれば、日本の来年度予算の歳出部分の項目は、日本が直面する基本的な諸問題を反映している、とのことだ。彼は、そうした問題として、安全保障、人口動態学的不均衡、消費需要の復活、貧困との闘いなどを挙げながら、さらに次のように指摘した—

「米国やEU、そして日本自体の経済状態が容易でないにもかかわらず、今のところ市場では、まだオプチミズムが支配している。つい最近の報告書の中で、日本政府は慎重な言い方ながら、経済は穏やかな回復基調にあると指摘した。しかし今年日本は、デフレを克服できなかった。また日本は7年にわたり、公的債務を減らそうと計画したにもかかわらず、国債の発行は、歳入の三分の一を占めている。日本銀行は、景気刺激と投資奨励のため、マイナス金利を導入したが、逆の結果をもたらした。お金を口座に残しておくことは損になってしまった。現金の総額は、現在、日本史上初めて、100兆円を超えているが、これらのお金は眠ったままの状態にあり、経済に回されていない。それ以外に、2017年は多くの新しい意外なことが起きる可能性が

ある。少なくとも、対日関係やTPPに対する米国のトランプ大統領の政策が、はっきりしていないからだ。また中国経済において潜在的なバランスの変化が起きるかもしれないし、原油の世界価格が大きく変動するかもしれない。」

なお日本政府は、日銀の金融緩和の効果などで、消費者物価（総合）は16年度の横ばいを脱し、1.1%上昇すると見ている。

<http://sptnkne.ws/ddTs>

ロシア外務省報道官「オバマ政権の8年は世界に嫌悪感を呼び起こした」

（スプートニク 2016年12月26日 09:24）

◎ AFP 2016/ Mandel Ngan <https://goo.gl/oM6zZE>

ロシア外務省のマリヤ・ザハロワ報道官は「オバマ大統領と彼のチームによる8年の統治は、世界に嫌悪感をもたらした」と述べた。

ザハロワ報道官は「私には、この人物と彼のチームは、あらゆる人々にとって悪いものだったように思える。自分達は特別だとのスローガンのもとでの彼らの8年間の支配は、世界中に嫌悪感を呼び起こした」と指摘した。また同報道官は、オバマ政権が「強者は、悪を創り出す限りのない権利を持つ」ことを示したことについて「倫理的観点から見て、それは犯罪に他ならない」と批判した。

<http://sptnkne.ws/ddTx>

「生きて戻れるか全く確信が持てない」と語ったロシアの人権活動家ドクトル・リーザ Tu-154 墜落事故で死す

（スプートニク 2016年12月26日 10:01）

◎ Sputnik/ Ekaterina Chesnokova <https://goo.gl/SlBisJ>

ロシア軍のTu-154型機墜落事故犠牲者の中に、ドクトル・リーザとして有名なロシアの博愛主義者、人権活動家であり医師のエリザヴェータ・グリーンカさんが含まれていることが分かった。グリーンカさんは、シリアのラタキアにある総合病院に医薬品を運ぶ途中だった。

2007年グリーンカさんは、慈善基金「正義の援助（スプラヴェドリーヴァヤ・ポーマシ）」を立ち上げた。この基金は、ガンにかかり死にかけている人達や貧困にあえぐ人々、ホームレスなどに対し、物質的及び医療援助を行っている。

2015年からは、グリーンカさんは内戦下のシリアを、人道援助使節団と共に幾度も訪れてきた。

twitter.com/ <https://goo.gl/VIDSeD>

今年12月8日には、プーチン大統領は、人権擁護分野での活動で傑出した業績を上げている人物として、グリーンカさんに国家賞を授与している。当時クレムリンで催されたレセプションで、グリーンカさんは次のように語った—

「明日私は、ウクライナのドネツクに飛びます、その次はシリアです。私達が生きて帰ってこられるかどうか、全く確信がありません。なぜなら、戦争というのは、この世の地獄そのものだからです。」

今日、多くのロシア人は、善と思いやりと慈悲の心をその身で体現した我らがドクトル・リーザの死を心から悼んでいる。

<http://sptnkne.ws/ddT7>

ツポレフ墜落事故、テロ説除外

(スプートニク 2016年12月26日 13:16)

◎ Sputnik/ <https://goo.gl/4343X0>

ロシアの捜査当局及び治安当局は先日のTu-154型機の墜落事故において、機内でのテロという説をメインにしない、と情報筋。リア-ノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/ddS9>

ロシア墜落事故、11人目の遺体を回収

(スプートニク 2016年12月26日 13:17)

◎ Sputnik/ Nina Zotina <https://goo.gl/DxH6CX>

ロシア防衛省によると、ソチ海上付近のTu-154型機の墜落事故の11目の犠牲者の遺体を回収した。また、ロシア防衛省はその飛行機の機体とされる一部分をソチ1.5キロ沖の深水50~70メートルで発見したと発表した。リア-ノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/ddTA>

日本 ロシアとの経済的パートナー関係は発展させるが、対露制裁は維持の方針

(スプートニク 2016年12月26日 11:32)

◎ 写真: Host photo agency <https://goo.gl/EEFweM>

日本政府は、ロシアとの経済協力を積極的に発展させる一方、対露制裁は解除せず、ロシアに対して「2つの方向性」の政策を実施する方針。共同通信が、日本の外交筋の話として報じた。

消息筋によると、日本政府は、日本が先進7カ国（G7）の立場に反して対露制裁を解除するのではないかとの懸念を一度ならず表明している先進7カ国（G7）の他の加盟国代表者に、説明する方針。

<http://sptnkne.ws/ddTC>

駐トルコ大使暗殺者の iPhone 4s、露・当局はアンロックする

(スプートニク 2016年12月26日 12:25)

◎ Apple <https://goo.gl/v90Wuw>

MacReports と Habertürk によれば、トルコ当局はロシア大使を殺害したトルコ警察官が所持していた iPhone 4S のアンロックをロシアに要請した。

twitter.com/ <https://goo.gl/B3A56P>

犯人は所持していたのは4桁のパスコードを利用した iPhone 4S であり、そのアンロックは比較的容易だと考えられる。iPhone 4S をアンロックする方法はすでにいくつか発見されており、今回の件で Apple の助けを借りる必要もない。

<http://sptnkne.ws/ddTD>

日米両政府、軍属の範囲縮小での補足協定で合意

(スプートニク 2016年12月26日 12:45)

◎ AP Photo/ Lee Jin-man <https://goo.gl/bWcbNe>

米・国防のカーター長官は日米地位協定が定める軍属の対象範囲を縮小することを明記した「補足協定」に実質合意したと発表。

日米両政府が、米側に優先的裁判権が認められている在日米軍属の対象範囲縮小に向け、日米地

位協定を補う「補足協定」を結ぶことで実質合意した。来年 1 月に任期が切れるオバマ政権中の署名を目指す。

軍属の縮小は、米軍属の男が起訴された沖縄県の女性暴行殺害事件を受けた再発防止策の一環として出された装置である。リア-ノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/ddTF>

トランプ氏 自身の慈善財団の解散を約束する

(スプートニク 2016 年 12 月 26 日 13:01)

© REUTERS/ Mark Kauzlarich <https://goo.gl/ZQsGJX>

トランプ次期米大統領は、利益相反を回避するため、自身の慈善財団を解散させることを約束した。BBCが報じた。トランプ氏の政権移行チームが発表した声明では、慈善団体はその活動を完全に停止する計画だとされているが、具体的な時期については述べられていない。検察当局は10月、届け出義務に違反したとしてトランプ財団の米国での活動を禁止した。

<http://sptnkne.ws/ddTt>

中国、台湾情勢への介入を受け米国に抗議

(スプートニク 2016 年 12 月 26 日 16:11)

© AFP 2016/ Johannes Eisele <https://goo.gl/AlMrzX>

台米間の協力を見越した米国の2017会計年度における国防予算の大枠を定めた国防権限法案にオバマ大統領が署名し、同法が成立したことを受けて、中国は米国に抗議した。同国外務省の華春瑩報道官が発表した。

オバマ大統領は先週、台米間の軍事協力プログラムを促す、米国の2017会計年度における国防予算の大枠を定めた国防権限法案に署名した。「我々は断固として米国の国防権限法案のこのような内容に反対であり、すでに米国側に抗議した。我々はこの法案の署名に対し強い不満を示す」と中国外務省のサイトに公開されている報道官の声明に書かれている。

先に伝えられたところでは、トランプ次期米大統領は、台湾総統と電話会談するか否かを中国に決めさせないと述べた。

<http://sptnkne.ws/ddV9>

露軍機 Tu-154 墜落の主な説が挙げられる

(スプートニク 2016年12月26日 17:44)

© AP Photo/ Pavel Golovkin 1/2 <https://goo.gl/e4FrNG>

ロシア軍の Tu-154 型機の墜落事故の主な原因になったのは、技術上の不備かパイロットのミスの可能性もある。ロシアのマクシム・ソコロフ運輸大臣がそう述べた。大臣は墜落事故を受けて創設された政府委員会を率いている。

ソチの黒海に墜落した Tu-154 型機の機内でテロが起きたという説は、可能性の高い説には入っていない。

ソコロフ大臣は、墜落事故を受けて、民間空港や省庁が利用する飛行場でセキュリティー対策を強化することはないと述べた。

ソコロフ大臣は、政府委員会の作業目的は墜落事故の原因解明にはなく、それは国防省付属の特別な技術委員会と捜査チームが行うと強調した。大臣は、政府委員会の調査の最初の結果は26日にも、メドベージェフ首相に報告すると発表した。

Tu-154 型機が黒海に墜落したのは25日午前。同機には、ロシア軍所属の「アレクサンドロフ記念ロシア軍の歌と踊りのアンサンブル」のメンバー64人、ロシアのマスコミ関係者9人、軍人、ドクター・リーザとして有名な、慈善基金「正義の援助（スプラヴェドリヴァヤ・ポーマシ）」のエリザヴェータ・グリーンカ会長の乗客計92人が搭乗していた。乗員乗客は全員死亡した。

<http://sptnkne.ws/ddXq>

トランプ陣営、オバマ大統領令 70%を停止か

(スプートニク 2016年12月26日 22:45)

© REUTERS/ Mike Segar <https://goo.gl/04KYzM>

トランプ次期大統領は就任後、オバマ大統領が署名した約70%の大統領令を廃止する可能性がある。米フォックスニュースのインタビューを受けてニュート・ギングリッチ元下院議長が次のように述べた。

「就任後の数日で、彼（トランプ氏）はオバマ大統領からの遺産として引き継がれる大統領令の60%から70%を廃止すると私は考える。」

ギングリッチ氏はまた、トランプ氏が客観的な状況では改訂の対象にはない大統領令さえ失効させる可能性があるとして付け加えた。ギングリッチ氏は、トランプ氏が民主党の代表数人と『接触を確

立」しようとするとの見解を示した。

<http://sptnkne.ws/ddZx>

『東京を愛したスパイたち』

(スポーツニク 2016年12月26日 18:45 リュドミラ・サーキャン)

© Fotolia/ Peshkova <https://goo.gl/EiMC7D>

今週、日本で『東京を愛したスパイたち、1907～1985』が出版された。著者はロシア人の東洋学者で歴史学者、作家のアレクサンドル・クラノフ氏。予告には次のように書かれている：

スパイたちの見た街「東京」を現代に再現！サンボの創始者オシェプコフ、ソ連の探偵小説の先駆者ロマン・キム、そしてリヒャルト・ゾルゲ……二十世紀前半の東京を跋扈した、個性溢れるロシア／ソ連の諜報員たち。情報公開（グラスノスチ）による最新の資料を駆使して、高度に知的な彼らの実像と、その東京における足跡を辿り直した異色のドキュメント。

読者へのメッセージの中で著者は、当初スパイについての本を書くつもりは毛頭なく、ロシアにおける日本学の歴史についての本を書くつもりだったと記している。しかし、一連の日本研究者の経歴を調べるうちに、そのうちの数人が常時あるいは一時的に諜報機関に従事していたことが明らかになった。本書の主人公はほとんどがゾルゲと同じで、そもそもスパイになるつもりはなかった者ばかりだ。彼らの関心は学問、翻訳、日本文化の研究にあった。しかし当時は、ロ日（ソ日）関係の主要なスペシャリストが他にもない探偵であることが多かった時代だ。こうした人々が日本に対する嫌悪感を抱いていなかったことは間違いない。著者は日本の読者にもその点に注意してもらいたいと願っている。

アレクサンドル・クラノフ氏がスポーツニクの質問に答えてくれた。以下にご紹介する。

スポーツニク：2014年には『スパイの東京』というロシア語の著書を出版されていますね。今回の作品は『スパイの東京』の日本語版でしょうか？それとも新作でしょうか？

クラノフ：「本来は『スパイの東京』を日本語に翻訳する考えでした。しかし、日本で出版するかどうかの検討にかなりの時間がかかってしまいました。その間に私はこのテーマに関する資料をかなり大量に収集したため、いくつかの章については、ほぼゼロから書き直し、他の章についても修正や補足を加えることとなりました。また、『スパイの東京』には全くなかった新しい章も加わっています。それは「アジア No.1 のソビエトスパイ」とよばれたKGB職員のユーリー・ラストヴォロフの逃亡です。ですから、この作品は『スパイの東京』の資料を一部ベースにした新作だと考えています。さらに、本作は『スパイの東京』よりもずっと良い作品に、より正確で真実味のある作品に仕上がっています。」

- 写真：アレクサンドル・クラーフ氏 <https://goo.gl/pGktG1>

スプートニク：この作品はどのジャンルに属するのでしょうか？

クラーフ：「敢えて歴史ガイドブックと呼んでみたいと思います。ロシアではまだあまり人気のあるジャンルではありませんが、日本では、東京の旧跡をまわったり、日本の各都市を旅行したり (history travelog's) というのは、とても人気のあるテーマです。しかも、この作品はリアルタイムで書かれたものです：私は古地図を買ってその上に現在の地図を重ね、必要な小テーマに関する資料の束を持って、いわれのある住所や密会場所、隠れ家などを探して、東京を歩きまわりました。結果として、調査報道のようなものが出来上がり、それが作品に推理小説のような色合いを与えているように思います。」

スプートニク：この作品は 1907 年から 1985 年までと、随分長いスパンを扱っています。また、タイトルからすると、日本で諜報活動を行いながら、それでも日本への愛を隠すことのなかった人たちの話のようです。

- 写真：アレクサンドル・クラーフ氏 <https://goo.gl/54RRt0>

クラーフ：「はい、実質上、さまざまな時期に東京で活躍したソビエト諜報員の話です。ストーリー自体は日露戦争後の時期から始まりますが、本書の主人公たちの諜報活動が始まるのはソビエト時代であり、それが終わるのもソビエト時代です。ここで興味深いのは、東京に対する姿勢も時代によって異なるということです。1924 年から 1926 年まで日本で諜報員を務めたロシア柔道の祖であり、サンボ創始者のワシリー・オシェプコフは、自分が子ども時代を過ごした日本を良く言うことはできませんでした。当時、そんなことをすれば命を落とす恐れがあったからです。実際、彼は 1937 年に日本のスパイという、あらぬ容疑をかけられて逮捕され、亡くなりました。しかし、彼がひとときも日本を忘れたことがなかったこと、講道館での練習を忘れたことがなかったことはよく知られています。同じく逮捕され、奇跡的に生き残ったロマン・キムは日本での思い出について多くの著書を残しています。彼は驚くほどに日本文化を愛した人で、モスクワで日本人記者から東京の最後の思い出である蒲焼きをプレゼントされたときには、死の床にありながらも、幸せのあまり涙を流しました。ゾルゲは今や東京とは切っても切れない人物であり、東京の多磨霊園に眠っています。また、ソ連対外諜報部員のニコライ・コシキン大佐は大きな愛情をもって東京を生き活きと描きました。元 K G B 中佐のコンスタンチン・プレオブラジェンスキーは今回の作品ととてもよく似たタイトルの回想録「日本を愛したスパイ」を書いています。」

スプートニク：あなたの著作はどのようにして日本の読者に届いたのですか？

クラーフ：「これに関しては、私の努力によるところはほとんどありません。出版の構想を持ち出したのは、素晴らしいロシア語の使い手である翻訳者の村野克明さんです。きっと、彼はこの作品に推理小説としてだけではなく、ガイドブックとしてのポテンシャルを多く見出したのでしょう。彼は翻訳をしながら、全ての資料をことのほか丁寧に再チェックしてくれ、彼が東京人であることから、私の間違いをいくつか訂正してくれました。これについては、特に感謝しています。」

スプートニク：どんな人にこの作品を読んでもらいたいですか？

クラノフ：「誰もが楽しんでくれることを期待していますが、特に歴史に関心のある人を楽しんでもらいたと思います。というのも、これはまず何よりも、東京についての本であり、このまちを愛しながらも、職業上の理由により、必ずしもその愛を告白することができなかった人たちについての本だからです。私はラッキーです：私は諜報員ではありませんし、公然と「私にとって東京は故郷のように大切なところだ」と言うことができるからです。」

『東京を愛したスパイたち』（藤原書店）は日本全国のほとんどの書店でご購入いただけます。

<http://sptnkne.ws/ddYk>

メキシコ、トランプ氏のおかげで 11 月の輸出が急増

(スプートニク 2016 年 12 月 26 日 18:58)

◦ AP Photo/ America Rocio <https://goo.gl/UbbjH8>

米国の次期大統領ドナルド・トランプ氏の発言でペソが値下がりしたため、メキシコの商品への需要が増大。11月のメキシコからの輸出が増加し、同国は貿易黒字を記録した。ウォールストリートジャーナルが伝えた。

メキシコの輸出は先月 11.1%増加、輸入は 5.1%増加した。国立統計研究所によると、工業製品の出荷は二桁成長、農産物はほぼ三割増となった。

貿易収支は今年 10 月の 9 億ドルの赤字、また 2015 年 11 月の 15.7 億ドルの赤字に対し、2 億ドルの黒字を達成した。

<http://sptnkne.ws/deey>

露軍機 Tu-154 の破片とみられるものが黒海で発見

(スプートニク 2016 年 12 月 26 日 21:17)

◦ Sputnik/ Nina Zotina <https://goo.gl/VmRgAU>

シヤ非常事態省の捜索グループが岸から 1 海里（約 1.8 キロ）のところで、ロシア軍の Tu-154 型機の残骸を発見した。現在、ダイバーを含む捜索隊が、残骸を発見した場所に集まり捜索を続けている。

予備情報によると、ダイバーらが黒海の岸から1マイル、27メートルの深さのところに露軍機Tu-154の機体を発見した。

ロシア連邦保安庁によると、テロの兆候はまだ見当たらない。墜落の主な原因としてはエンジンに異物が入ったこと、低品質の燃料、パイロットのミス、技術的な欠陥が考えられている。

Tu-154型機が黒海に墜落したのは25日午前。同機には、ロシア軍所属の「アレクサンドロフ記念ロシア軍の歌と踊りのアンサンブル」のメンバー64人、ロシアのマスコミ関係者9人、軍人、ドクター・リーザとして有名な、慈善基金「正義の援助（スプラヴェドリーヴァヤ・ポーマシ）」のエリザヴェータ・グリーンカ会長の乗客計92人が搭乗していた。乗員乗客は全員死亡した。

<http://sptnkne.ws/debn>

日本人になるには日本人に生まれるしかない。 厳しい移民政策がもたらすものとは？

(スプートニク 2016年12月26日 23:53)

© Fotolia/ Yellow <https://goo.gl/dLJLzS>

日本の移民政策は依然として世界でも最も厳しいもののひとつである。日本のお役所の移民に対する保守的な姿勢を示した一例が、日本で生まれ育った17歳のシーク教徒、グルセイワク・シングの一件だ。ロイター通信によると、グルセイワクは自分を日本人だと考えており、日本語も何不自由なく話す。彼には、どうして事実上の祖国に留まることを国が認めてくれないのか、理解できない。

2016年、日本の出生数は1899年以降初めて100万人を割り込んだ。厚生労働省の予測では、今のところ出生数が伸びる兆しは見られない。一方で、日本の死亡数は過去10年間、出生数を上回り続けている。今年の死亡数は1,299,600人で、出生数を315,000人上回った。移民政策の緩和で高齢化問題を代償することはできるのか？

日本の移民政策は依然として世界でも最も厳しいもののひとつである。日本のお役所の移民に対する保守的な姿勢を示した一例が、日本で生まれ育った17歳のシーク教徒、グルセイワク・シングの一件だ。ロイター通信によると、グルセイワクは自分を日本人だと考えており、日本語も何不自由なく話す。彼には、どうして事実上の祖国に留まることを国が認めてくれないのか、理解できない。

[twitter.com/ https://goo.gl/T8QfD6](https://twitter.com/https://goo.gl/T8QfD6)

現在、グルセイワクと両親は、難民申請書類がいつまでも審査中のままだからというだけで日本に暮らしている。グルセイワクはまもなく高校を卒業し、大学へ進みたいと考えているが、仕事を見つけられないことには学費を払うことができない。現在、約5,000人が彼と同じ境遇に置かれている。

グルセイワクの一件にはおそらく多くのヨーロッパ人が同情するだろう。ヨーロッパ諸国は開かれた難民政策を採っているからだ。しかし近年、ヨーロッパでも「移民危機」がますます声高に叫ばれるようになってきている。EUに移住する移民の数が多いため、人口は増加している。しかし、ドイツ警察労働組合のヨルグ・ラデク会長が Sputnik のインタビューで指摘したように、治安機関には国民に対して然るべきレベルの安全を確保するための各種資源が不足している。

今や世界中に知られるところとなったフランスの小さな町カレーには、中東からの移民が居住するヨーロッパ最大の難民キャンプ、いわゆる「ジャングル」がある。移民は地元住民の平穏をますます乱すばかりで、ついにはカレー港へ向かう道路とキャンプとの間に、両者を隔てる壁を建設しなくてはならなくなった。

twitter.com/ <https://goo.gl/WqYjqH>

一方、日本には騒乱やレイプの横行などといった「移民危機」はない。おそらく、厳しい移民政策がそうさせているのだろう。昨年、日本で難民申請をした 7,000 人のうち、申請が認められたのはわずか 27 人だった。ここから日本のお役所の綿密な仕事ぶりが見てとれる。あらゆる書類を綿密に調査し、個別の外国人の日本滞在を合法化する理由や、それがもたらし得る結果についても徹底的に調べ上げる。

一見したところ厳しい移民政策の利点は明白なようだが、それでも日本では、とりわけ高齢化問題と関連して、移民政策緩和の必要性が言われて久しい。いくつかの経済部門では、将来的にますます外国人労働者への依存が進むだろう。日本の外務省は年間 30 万人の外国人留学生および研修生を日本の大学に誘致するプログラムを管轄している。日本は外国人に対して、年を追う毎にますます広く門戸を開放しているようにも思われる。

しかし、独自の伝統を守ろうとする多くの日本人は、今でもすでに、多くの移民が国内に暮らすことを良く思っていない。関西空港からの旅客輸送を行う日本の鉄道会社、南海電鉄がスキャンダルの的となったのはつい最近のことだ。車掌が日本人乗客に対し、外国人が多く乗車しているためにご迷惑をおかけして申し訳ないというアナウンスを行ったのだ。

高等経済大学人口統計学研究所のミハイル・デニセンコ副所長は次のように指摘する。「難民問題で日本が他国と異なっているのは、長きにわたって鎖国の伝統があったという点です。日本は文化的にも心理的にも、この鎖国から抜け出すのが困難なのです。」

外国人が日本社会に馴染めるようにするには、おそらく教育分野を含め、改革が必要になるだろう。古いメンタリティーを変えるには、小学校に上がる前から、より開かれた社会づくりの基礎となる考え方を身につけなければならない。

<http://sptnkne.ws/decJ>

安倍首相 ロシア軍用機墜落を受けてプーチン大統領に弔意を伝える

(スプートニク 2016年12月26日 20:41)

© REUTERS/ Toru Hanai <https://goo.gl/sD2Hdc>

26日、日本の安倍首相は、ロシアのソチ沖で25日にロシア軍用機が墜落したのを受け、プーチン大統領に弔意メッセージを送った。日本外務省が26日、発表した。また岸田外相も、ラヴロフ外相に弔意を伝えたという。

Tu-154型機が黒海に墜落したのは25日午前。同機には、ロシア軍所属の「アレクサンドロフ記念ロシア軍の歌と踊りのアンサンブル」のメンバー64人、ロシアのマスコミ関係者9人、軍人、ドクター・リーザとして有名な、慈善基金「正義の援助（スプラヴェドリーヴァヤ・ポーマシ）」のエリザヴェータ・グリーンカ会長の乗客計92人が搭乗していた。乗員乗客は全員死亡した。

<http://sptnkne.ws/dewg>

露日の平和条約は何を秘めているのか

(スプートニク 2016年12月26日 21:02 ドミトリー・ヴェルホトウロフ)

© AP Photo/ Koji Sasahara <https://goo.gl/29fZf5>

日本の首相は来年ロシアを訪れ、2国間の平和条約締結問題の協議を続ける意向だ。

これは非常に緊迫したテーマであり、両国民を騒がせている。ここで主な障害となっているが南クリル諸島であるのは周知のとおりだ。特に1956年のソ日共同宣言によると平和条約締結後にソ連が日本に自由意志による譲渡を約束したハボマイとシコタンだ。実際のところ、全ての問題はこの点に尽きる。だが私の考えでは、状況ははるかに複雑、かつ興味深い。

1つ目に、平和条約の不在はロシアと日本が未だに戦争状態にあることを意味しているわけではない。戦闘は降伏文書に基づいて終了した。降伏文書は元に戻すことのできない文書だ。休戦協定と同じく、それを奪って破棄することはできない。なぜなら文書は武装解除と軍の解隊を規定しているからだ。この観点から言えるのは、露日関係で「平和条約」という用語はその本来の目的で使用されていないのではないかということだ。共同宣言は、その名にかかわらず、本物の平和条約の内容と効力を有し、両国によって遵守された。そのため「平和条約」は、長い戦争の正式な終結というよりも、全く別のものをカモフラージュするある種の政治的な婉曲表現だ。

2つ目に、戦時中と戦争終結直後に、反ヒトラー同盟の全ての同盟国が敵国と一緒に平和条約に調印した。その典型的な例は、1947年2月10日に締結されたルーマニア（ドイツの同盟国だった）とのパリ条約だ。同条約には、ソ連、英国、米国、その他の国が調印した。条約では、ルーマニアが遵守しなければならないすべての規則と原則が定められた。1951年9月8日にサンフランシスコ

で調印された日本との平和条約は、反ヒトラー同盟の名において締結された典型的な平和条約と大きく異なっている。サンフランシスコ平和条約第23条には、米国、オーストラリア、カナダ、セイロン、フランス、インドネシア、オランダ、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、英国という参加国リストが記載されている。同リストには戦後誕生した2つの国が含まれている。それはインドネシアとパキスタンだ。しかし！日本との戦争の主な参加国であるソ連も中国もリストに含まれていない。

ソ連はサンフランシスコ平和条約に調印しなかった。なぜなら、条約の重要な条文の一つである外国軍の日本駐留に関して同意できなかったからだ。ソ連側は、自国の領土に外国の軍隊と基地を駐屯、駐留させず、日本との戦争参加国に対する同盟に加盟しないことを日本に義務付けることを主張した。条約は、朝鮮戦争の最中に策定された。米国にとって日本からの自国の部隊と基地の撤退は考えられないことだった。そして結果的に米国は、ソ連と中国を連合国外し、両国の権利と利益を制限した。

3つ目は、サンフランシスコ平和条約第2条には、クリル諸島と南サハリンに対する要求を日本が放棄する義務が含まれている。同条約は調印され、有効であるため、日本は遵守しなければならない。一方で米国は、ソ連の利益を制限しようと試みた。米上院は条約批准の際に、条約は1941年12月7日の時点で日本に属した領土に対する要求を認めず、1945年2月11日のヤルタ協定（南サハリンの返還とクリル諸島の引き渡しの要求）における日本に対するソ連の有利な状況も認めないとする条項を承認したのだ。すなわち米国は、ソ連を連合国のリストから削除しただけでなく、日本との戦争にソ連が加わる条件についての自らの約束を破ろうとしたのだ。しかし米国の立場は言葉の上だけで、サンフランシスコ平和条約の本文を変更することもなければ、軍事力でクリルとサハリンを日本に返還させるリスクも冒さなかった。

概してサンフランシスコ平和条約は、1950年代初頭に米国を網羅した反共産主義ヒステリーの精神にみなぎっている。条約は、日本との長期にわたる戦争で苦しみを負った中国と、大陸で主な日本軍を撃滅したソ連に対して明らかに不当だ。一方で、あらゆる欠点がある中で、サンフランシスコ平和条約は、それらの条件、あるいは基本的にそれらの条件で、2国間平和条約を締結する権利を日本に与えている。そこで思ってもみないことがある可能性がある。

その一つは、日本はあらゆる平和条約のバージョンで、ロシア（ソ連の法的継承国。これは1992年に日本によって認められた）を連合クラブのメンバーとして認めなければならないというものだ。なおよく知られている歴史的出来事や文書を参照すると、それをしてはいけないという。また2ヵ国間の平和条約が、サンフランシスコ平和条約に記載されている条件の下で策定された場合、条約の第6条では、次のように述べられている—

「この規定は、1つあるいは2つ以上の連合国を一方とし、日本を他方として双方の間に締結された、もしくは締結される2国間あるいは多数国間の協定に基づく、またはその結果としての外国軍の日本の領土における駐留あるいは駐屯を妨げるものではない。」

これは、日本が平和条約調印の事実としてロシアを連合国と認めた時に、例えば北海道などにロ

シアの軍事基地を設立することに関する2国間協定を締結するための道が開かれることを意味している。

もしかしたらこれはファンタジーにすぎないかもしれない。しかしロシアと日本の平和条約をめぐる具体的な交渉は非常に興味深いものになると思われる。詳細を今判断するのは難しい。だが同文書への調印は、ロシアの政治的重みが増し、同時に米国の日本への影響力が低下することを確実に意味するだろう。

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/dewp>

アレッポで拷問を受けたシリア人の埋葬地が発見される

(スプートニク 2016年12月26日 22:10)

© Sputnik/ Ali Hassan <https://goo.gl/rPd223>

アレッポで拷問・虐殺を受けたシリア人の集団埋葬地が発見された。数十体の遺体のうち、多くで体の一部が欠落しており、大半が頭部を撃たれている。

ロシア国防省広報によれば、市内には巨大な弾薬庫が7つ、戦車が3台、大砲2門、2つのミサイル発射装置が見つかっている。戦闘員らはアレッポ撤退に先立ち街路や建物の入り口、自動車、果ては玩具にまで爆薬を仕掛けていった。

先に市の解放された区域で戦闘員自ら撮影した自身の残虐行為の写真・映像がロシア兵士によって多数発見されていた。生存者によると、暴力の口実としては、ダマスカスへの同情だけで十分であったという。

先に誰が、どのように、なぜシリア紛争に関して誤った情報を発信しているのかが報じられた。

<http://sptnkne.ws/deqX>

パレスチナ・イスラエル正常化に関する枠組み合意が策定中

(スプートニク 2016年12月26日 23:07)

© AFP 2016/ Abbas Momani <https://goo.gl/TcnP0d>

ジョン・ケリー米務長官はパレスチナを独立国家として認めるパレスチナ・イスラエル正常化に関する枠組み合意の成立に尽力している。アルクドゥス紙によると、ケリー氏はこの合意を中東

問題の今後の交渉の土台としたい考え。

合意では、パレスチナはイスラエルを認め、イスラエルはパレスチナを東エルサレムを首都都市 1967 年の境界線内を領土とする独立国家として認めることとなっている。

合意はまた領土紛争の解決策を提示するものとなっている。

国連安全保障理事会は 23 日、パレスチナ領内での入植地建設を停止するようイスラエルに要請する決議を採択した。のちイスラエルは決議の履行を拒否した。

先にイスラエルでメドベージェフ首相への贈り物返還要求が出ていることが報じられた。

<http://sptnkne.ws/dejK>

私の友人、パーシャについて：Tu-154 墜落事故

(スプートニク 2016 年 12 月 27 日 01:08 徳山あすか)

© Sputnik/ Maksim Blinov <https://goo.gl/CPkYBM>

今日はとても個人的な話を書きたい。私は昨日の朝起きてすぐ、ロシア軍の航空機 Tu-154 が黒海に墜落したと知った。シリア反体制派のテロかと思い、私はニュースを読み始めた。その段階では、まだ詳しいことはほとんど分かっていなかった。軍用機がモスクワを出発し、アドレル空港に給油に寄り、ソチに近いところで墜落したことだけは確かなようだった。

私は、あるニュースサイトで、搭乗者リストの中に友人の名前を見つけた。彼の名前はパーヴェル・オブホフ、ロシア国防省のテレビメディア「ズヴェズダー」の記者で、25 歳だった。ここではいつものように、親しみをこめてパーシャと呼ぶことにしたい。そのニュースサイトが間違いであってほしいというわずかな期待もむなしく、「ズヴェズダー」は、パーシャが確かにツポレフ 154 に乗り、シリアに出張に向かっていたと報じた。

しかし墜落したからと言って亡くなったとは限らない。あの御巣鷹の日航機墜落事故でさえ、4 人生存者がいた。パーシャは若くて体力があるので、海に浮いて助けを待っているかもしれない。なんといっても墜落場所はソチにもものすごく近いし、ロシア領だ。救助隊も必死で捜索しているだろう。しかし、一日中、ニュースにかじりついて過ごす中、テレビでパーシャの白黒写真に黒いリボンがかけられ、人々が赤い花を供えているのを見た。「ズヴェズダー」は、パーシャを含む、Tu-154 に搭乗していた 3 人の社員の功績をたたえる映像を流し始めた。当局は「生存者はいない模様」と話していた。しかし、それでも、ばかばかしい話かもしれないが、万が一ということがあってはならないかと思っていた。ロシアでは何が起こってもおかしくない。

パーシャとはモスクワ教育大学の大学院で同じ専攻だった。政治ジャーナリズム学科はわずか 13

名しかいなかったのので、私たちは自然と仲良くなった。ロシア人というのは概して人見知りだ。普通は仲良くなるのにある程度の時間がかかるものだが、パーシャは非常に明るいキャラクターの持ち主で、他人に対してバリアをもたず、華があった。2014年、ロシアではウクライナ危機が最大の関心事だった。私たちは授業でよくそれについて討論した。ロシアチームとウクライナチームに分かれ、それぞれの国の言い分を主張し、議論する。その後あえて役を交代して、逆の立場に立ってみるのだ。私はパーシャと同じチームになった。そのとき、彼の頭の良さにびっくりしたことをよく覚えている。パーシャの方も、私の日本人的な考え方は新鮮だったようだ。それがきっかけで私たちはよく話すようになった。

パーシャは国防省のメディアで働いているだけあって、軍事的なことについてとても詳しくあった。私がチェチェン紛争についてのレポートに四苦八苦しているときにアドバイスをくれたし、彼自身、戦地でのジャーナリストのあるべき姿について、研究課題にしていた。パーシャは好奇心旺盛で元気があり、話すのが本当に上手かった。現場でレポートするために生まれてきたような人だ。しかしパーシャはパフォーマンス好きの軽い人間というわけではない。あるときパーシャが作った番組を見せてもらった。それはロシアの障害者の物語で、家族と離されて寮に暮らし、そこで教育を受け、仕事をし、生きていくというドキュメンタリーだった。その寮にずっと暮らしているおじいさんのインタビューは涙なくして聞くことはできなかった。ソ連時代には障害をもつ人々が一般社会の中で生きるのには難しいという考え方があり、パーシャの番組は、ロシア社会の知られざる部分を描き出していた。

ジャーナリズムを学んでいるからといって、全員がジャーナリストになれるわけではない。ロシアでも日本と同じように、マスメディアへの就職は狭き門である。クラスメートの間でも、夢を体現しているパーシャは皆の憧れだった。今回の事故を受け、パーシャが25歳だと聞いて、あらためて驚いた。もちろん彼の年齢は知っていたはずなのだが、パーシャの仕事や言動から考えれば、もっと年上でもおかしくないような気がしたのだ。パーシャは、エボラ出血熱が流行るギニアにも、シリアにも、北極にも、どこへでも行き、ほとんど休みがなかった。それだけの仕事を25歳でこなせる日本人を私は知らない。

私たちは今年の7月に修士課程を修了し、成績優秀者に授与される「赤いディプロム」をもらうことができた。パーシャがあれだけのハードスケジュールの中、修士論文を書き上げたことに私はびっくりした。パーシャはディプロム授与式に両親を呼び、嬉しそうに写真を撮っていた。それは本当につい昨日の日のことのように。

事故から一夜明けた今日26日、ロシアは喪に服している。これを書いているのはモスクワ時間の夕方だ。昼間には、パーシャのお別れ会の日程が決まったという知らせが飛び込んできた。結局、ここまで書いて、これは何のための文章なのか自分でもよくわからないし、もしかしたら読者の皆さんを困惑させてしまったかもしれない。しかし私はとにかく、友人であり、若くて将来有望なジャーナリストであるパーシャの人生のごく一部でも、誰かに知らせたかったのだと思う。

ロシアに暮らして3年と少ししか経たない私にとって、彼は数少ない友人だった。数日前、私たちはメールのやり取りをしていた。パーシャは私に何か頼みたいことがあったのだ。それはもしか

したら日本に関することだったのかもしれない。しかしパーシャは出張に、そして別の世界へと旅立ってしまい、結局それが何だったのかわからないままだ。小さい頃から合気道をし、身体を鍛えていたパーシャ。彼と、ロシアと日本を結びつけるような仕事を一緒にしたかった。

Tu-154 の墜落事故は結局、乗員乗客 92 名が全員犠牲になるという大惨事となった。生存者の見込みどころか、犠牲者の遺体もなかなか見つけることができず、潮の流れが速くて捜索が難航していると聞く。事故原因について考え出すときりがなく、堂々巡りの思考が止められないが、今わかるのは、何も明らかになっていないということだけだ。

<http://sptnkne.ws/depW>

ロシアとNATOの対話発展：2017年の予定

(スプートニク 2016年12月27日 01:13)

◎ 写真：NATO <https://goo.gl/8NdBNF>

ロシア・NATO理事会の次回会合の実施に関する協議は、新年休暇明けに始まる。前回のロシア・NATO理事会の大使級会合は、12月19日にブリュッセルのNATO本部で行われた。2015年はこのような会合が一度も行われなかったが、2016年は3回開かれた。

ロシアのグルシコNATO大使によると、ロシアは対話のために開かれている。大使は対話について、「状況に関する我々の評価を交換し合うという観点からも重要だ。またすべての当事者が互いの動機を理解するのに役立っているかもしれない。なおこれはより生産的な会話をするための条件の一つだ」と指摘した。

先に、NATO主任監察官が射殺されたと報じられた。

<http://sptnkne.ws/dem4>

英国ジャーナリストらは英国のEU離脱に対する女王の立場について知っていた

(スプートニク 2016年12月27日 06:01)

◎ AFP 2016/ Leon Neal <https://goo.gl/cxWcPT>

英国のエリザベス女王はEU離脱の是非を問う国民投票に先立ち、離脱を支持する発言を行っていた。ガーディアンがBBCのロラ・キンスバーグ記者の情報として報じた。ただし、バッキンガム宮殿はこうした噂を全く確認していないという。

今年初め、タブロイド紙サンが「女王は離脱支持」との見出しの記事を掲載、王室広報が「見出

しは混乱を招く」として苦言を呈した。

キュンスバーグ氏も投票直前に女王のそうした立場を知ったが記事にはしなかったという。情報ソースがひとつしかなく、BBCは複数のソースを必須としていたため。

それによると、女王は少人数の夕食の席で、「どうして単にEUを離脱してはいけないのか？ どこに問題があるのか？」と述べたという。

<http://sptnkne.ws/dewB>

ひょっとして日本との平和条約はロシアを脅かす？

(スプートニク 2016年12月27日 07:08 リュドミラ・サーキャン、アンドレイ・イルヤシェンコ)

◎ 写真: Host photo agency <https://goo.gl/rJDcPi>

プーチン大統領の訪日は経済および南クリル諸島に関する対話の合意というプリズムを通して捉えられている。だが平和条約締結への道で最大の障害となっているのは諸島での共同経済活動における法的問題ではない。露日間の政治対話に決定的な影響を及ぼしているのは戦略的安全保障のテーマであり、ずばり言えばそれは米国のグローバルMDなのだ。

プーチン大統領訪日の初日、大半を占めたのはこのテーマだった。

プーチン大統領は安倍氏との会談で詳細を語ったのは米国が北東アジアに拠点を築こうとしていることであり、これを「ロシアは米国のグローバル攻撃用戦闘システムの一部であり、欧州、地中海、そして今度はアラスカにあるミサイル防衛基地を補足するものとみなしている」と指摘した。ラヴロフ外相も首脳会談終了後にこれを総括したなかで「この問題に関して日本の同僚らはロシアの憂慮をよりよく理解しはじめた感がある」と語っている。プーチン大統領はカムチャッカに拠点を置くロシア軍の核抑止力への脅威としてこれに憂慮を表している。ロシアは米MDはロシアの戦略抑止力の可能性無効化する恐れがあるため、戦略均衡の破壊を目指したものと捉えている。

これまでは米国のMDに対するロシアの憂慮は欧州に関するものだった。長い、困難な対話が続いた挙句、何の実も結ばずにそれは終わった。米国防総省は公式的に米MDを欧州に展開した。ロシアの要請、提案を無視して米国は今年2016年5月、スタンダードミサイル3を搭載したイージス弾道ミサイル防衛システムの地上複合体を戦闘配備した。また類似した複合体の建設はポーランドでも開始されている。これに報復しロシアも約束どおり西の飛地カリーニングラード州にも移動式のミサイル複合体「イスカンデルM」を配備した。地域軍拡競争はまさにこうした様相を呈している。

一方で日本と韓国へのTHAADシステム配備計画もロシアには少なからぬ憂慮の念を抱かせている。

欧州のものに対してアジアのMDは本質からすると地上、海上からの弾道ミサイルの楔形に配備して迎撃システムとなる。こうしたミサイルは米国のほかにはロシアと中国しか有していない。つまり米国MDグローバルシステムはこれらの国に矛先を向けたものだということになる。このため日本が米国MDに参加するという問題はロシアにとっては原則にかかわることになりつつある。つまり日本に島を渡すことはそこに米国MDが配備される恐れが発生するため受け入れられない。

日本との条約がロシアに脅威をもたらすのであれば、何が平和条約であろうか？ こうした見解を日本の専門家であるアナトーリー・コーシキン氏も同じくしている。コーシキン氏はパトルシェフ安全保障会議書記と谷内国家安全保障局長との会談では、谷内氏ははっきりとクリル諸島に米国のMDが配備される可能性があるとして認めていた。島が返還された場合、島は日米安保条約の効力が及ぶ範囲に入るからだ。

「日本はロシアがこの理由で自国の領土を引き渡せないことをよく理解している。米軍基地が出現し、自分自身に矛先が向けられてはたまらないからだ。非常に重要で強調しておかねばならないのはまさにこの問題があったからこそ1956年に共同宣言が調印された後にクリル諸島の境界線の解決を先に進めることができなかったという点だ。このため私は、日本人もロシア人もまさに米国のせいで1956年の合意がいまだに実現できなかったということを知っておかねばならないと思っている。あれ以来、米軍基地は撤廃できないどころか、ますます面積を拡大し強大なものとなった。加えて日本の自衛隊は米国草案の平和憲法にもかかわらず強力な軍隊を取り戻している。技術的にはこれはずいぶん前から世界でも最もハイテクの軍隊に数えられている。」

仮に日本が係争領域に米軍基地が出現することはないと約束したところで疑いは残る。米国にしてみれば署名だけでもすでにそれが米国の国益に答えるものと同様の意味を持つ。これが米国の国益と矛盾するカテゴリーに入れば米国はたちどころに忘れとコーシキン氏は指摘する。これに関しては日本人アナリストら自身もクリルの領域をMDに使うかどうか、これを決めるのは米国だと認めるほどだ。その顕著な例はNATOがいかに自分の約束を「守るか」ということに現れている。合意にもかかわらずNATOは東方拡大を行ったからだ。

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部との立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/dewF>

「二度と戦争の惨禍を繰り返してはならない」－フェイスブックで安倍首相は日米同盟の強さを確認した

(スプートニク 2016年12月27日 07:38)

© REUTERS/ Carlos Barria <https://goo.gl/Qq1zsm>

第二次世界大戦以来の日本の首相としては初め、歴史的な意味を持ち、27、28日（日本時間）の安倍首相の米ハワイ・ホノルル、または真珠湾への訪問に先立ち、安倍首相はフェイスブックで「揺

るぎない日米同盟の姿を世界に示してまいります」と確認した。

facebook.com/ <https://goo.gl/qDNLtr>

27日未明（日本時間）安倍首相は無事に米ハワイのヒッカム空軍基地に到着した。そして米ハワイ・ホノルルで、太平洋戦争やベトナム戦争の戦没者らが眠る米国立太平洋記念墓地を慰霊のため訪れた。その後、2001年に愛媛県立宇和島水産高校の実習船えひめ丸がハワイ・オアフ島沖で米原子力潜水艦に衝突され9人が死亡した事故の慰霊碑を訪れ、献花した。発生から15年以上が経過し、事故を風化させないとの思いを込めて黙とうした。

共同通信によると、首相は27日午前（日本時間28日朝）にはハワイ真珠湾に沈む戦艦アリゾナの上に建てられたアリゾナ記念館に、オバマ米大統領と向かうという予定がある。

<http://sptnkne.ws/deun>

トランプ氏の核兵器に関する声明は軍拡競争への意向を意味するものではない

（スプートニク 2016年12月27日 08:03）

◎ REUTERS/ Mario Anzuoni <https://goo.gl/YLRvzv>

米国の次期大統領ドナルド・トランプ氏の核兵器をめぐる声明は、氏が核軍備競争を目指しているということの意味するものではない。スプートニクのインタビューでワシントンユーラシア政治学センター副総裁アール・ラスムセン氏が述べた。

氏は、20年以上米陸軍に勤務し大佐として退職した。その同氏いわく、「老朽化した核兵器はいずれの敵にもまして危険である。核兵器とインフラの近代化は軍拡競争を意味するものではなく、保有核兵器の安全性を確保する責任ある一歩である」とのこと。

<http://sptnkne.ws/deu7>

オバマ大統領、大統領選で自分の勝利に信じる

（スプートニク 2016年12月27日 08:30）

◎ AFP 2016/ Saul Loeb <https://goo.gl/2SKPsd>

オバマ米大統領は26日までに、11月の大統領選について「もし私が出馬していたら、多くの米国人を動員できていたはずだ」と述べた。共同通信が報じた。

米憲法上、米大統領の3選は禁じられているが、オバマ大統領は3選を果たせたとの見方を示し

た。オバマ氏は、トランプ氏への「円滑な政権交代」に全力を尽くすとしているが、選挙結果に納得がいかない心情を吐露した形だ。

オバマ氏は2008年の大統領選で掲げた「変革」のメッセージに「今でも自信を持っている」として、自身が出馬すれば勝利に必要な支持を得られたはずだと述べた。

<http://sptnkne.ws/deuH>

チェコ大統領、先日の欧州でのテロを移民危機と関連付ける

(スプートニク 2016年12月27日 09:02)

© AFP 2016/ Radek Mica <https://goo.gl/1gLgzS>

チェコのゼマン大統領は先日の欧州でのテロを移民危機と関連付けている。AP通信が伝えた。「今や移民の波とテロとの関係を疑うものはいない」と市民向けクリスマスメッセージで大統領が述べた。テロをチェコで起こさせないためにはいわゆるヴォランティア原則で移民を受け入れないことだ。EUで移民を平等に配分するよう努力すべきだ。

大統領は、国内および近隣にいる移民に対し、またギリシャとイタリアに対して支援を惜しむものではないが、「ムスリムや統合に困難を抱えた移民を国内に受け入れることは潜在的なテロの温床になってしまう」と述べた。

<http://sptnkne.ws/dexe>

トランプ氏は王様？

(スプートニク 2016年12月27日 09:30)

© Sputnik/ Vladimir Vdovin <https://goo.gl/ijlRP3>

トランプ次期米政権で大統領首席補佐官に就くプリーバス共和党全国委員長がクリスマスに寄せたメッセージに、トランプ次期大統領を「王様」と呼んだと疑わせる表現があり、物議を醸している。共和党は「トランプ氏を王様と呼んだわけではない」と火消しに躍起だ。共同通信が報じた。

プリーバス氏は25日、共和党のウェブサイトに載せたメッセージで、キリスト生誕について「2千年前に世界に新たな希望が生まれた」とした上で、「今回のクリスマスは新たな王という良いニュースを祝う時を告げている」と記した。

ソーシャルメディアで「新しい王とはトランプ氏のことを意味しているのではないか」との見方が広がる。トランプ政権で大統領報道官に就くスパイサー氏は米メディアに「その表現とトランプ

氏は無関係で、王とはキリストのことだ」と釈明した。

<http://sptnkne.ws/dev2>

プーチン大統領、再選までの課題：ロシア経済復活の二つの鍵とは

(スプートニク 2016年12月27日 10:09 徳山あすか)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/k8VJpy>

23日、年末恒例のプーチン大統領大型記者会見が開かれ、1,400人以上の記者が集まった。ひしめきあう記者たちは質問の権利を得ようと、各社オリジナルのプラカードを掲げ、必死にアピール。結局47名が質問し、会見は3時間50分ノンストップで続いた。ロシアの記者達の関心は安全保障問題、米国大統領選挙、ドーピング問題、トルコやウクライナとの関係、国内産業支援など多岐にわたった。地方メディアにも質問の機会が与えられ、地方支援、地方の銀行システム、国営企業のエリートの姿勢の批判、環境問題など様々なトピックの中で、地方経済が思わしくないことが見てとれた。LNGプロジェクトで最近注目を集めているヤマル(シベリアのヤマロ・ネネツ自治管区)のジャーナリストは、「ヤマルはロシア経済の原動力だが、道路が足りない。いつ建設を始めますか?」と、ストレートに質問をぶつけた。

ロシアの国内問題で記憶に新しいのは、イルクーツクで人体に有害なメタノール入りの入浴剤を酒の代わりに飲み、人々が中毒死してしまったことだ。イルクーツク市には非常事態宣言が出され、死者は26日現在で76名にも達し、現在も入院中の人がいる。これについてプーチン大統領は、アルコール中毒との戦いは、飲むのを禁止するというだけでなく、マスメディアと協調し、これと戦っていかねばならないと話した。

外国メディアも会見に参加できる。ウォールストリートジャーナル記者は「次期大統領選が前倒しで行われる可能性はあるか?」と質問。プーチン大統領は「どこの国の選挙?」と冗談でかわし、会場の笑いを誘った。そして「あり得るが、得策ではない」と答えつつ、自身の出馬については明言を避けた。

とはいえプーチン大統領の再選は多くの専門家が予想することであり、プーチン大統領との合意のもとで択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島の共同経済活動の論議を始めたばかりの日本としても、プーチン大統領が続投してくれる方が都合がよいだろう。スプートニクは、2018年の再選のために、プーチン大統領が克服しなければならないロシア国内の問題について、ロシア情勢に詳しい国際関係アナリストの北野幸伯氏に話を伺った。

北野氏：「プーチン大統領は、現状のままでも十分再選されると思います。しかし、『圧勝』するためには、やはり『景気をよくする』必要があるでしょう。ロシアは2014年3月のクリミア併合後、『経済制裁』『原油安』『ルーブル安』で苦しんできました。原油価格は今年年初1バレル30ドルほどでしたが、今は55ドルまで上がってきました。それでロシア経済は、底をうった感じがし

ています。ロシア国内最大の問題は、『経済』ですが、それを解決するためには、二つのことが必要です。一つは、トランプ新大統領の米国と和解し、『制裁解除』を実現することです。米国が制裁を解除すれば、日本も欧州も、それに続くでしょう。ロシア経済は、それだけで、ずいぶん楽になります。もう一つは、OPEC諸国、他の産油国と協議し、原油価格をさらに上げていくことです。こちらも、トランプ新大統領がかかわってきます。というのは、シェール革命の結果、米国はすでに世界の産油国だからです。原油価格をバレル70~80ドルぐらいにもっていければ、ロシア経済はプラス2~3%の成長に転じ、プーチン大統領は人気を維持したまま、2018年の大統領選で圧勝できるでしょう。」

北野氏が指摘したように原油価格はロシア経済の指標ともなっており、リア・ノーヴォスチ記者も望ましい原油価格について質問を投げかけた。これに対しプーチン大統領は、「2017年後半には原油の余剰分が市場から消え、価格も安定するだろう。原油減産合意は、OPECにとっても、非加盟の主要産油国にとっても益があることだ」と話している。

<http://sptnkne.ws/devD>

2016年に地中海で死んだ難民の数、過去最悪

(スプートニク 2016年12月27日 17:36)

© AFP 2016/ Ricardo Garcia Vilanova <https://goo.gl/RALoHc>

悲しい記録だ。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が23日、欧州を目指して地中海を渡る途中で死亡したり行方不明になった難民、移民の数は今年に入ってから5,000人を超えたと明らかにした。去年の3,800人を上回り過去最悪の数になった。2016年は死亡数が過去最悪になった上、地中海を無事渡り終えた人の数は去年に比べ著しく下がった。スプートニクは、地中海で移民を乗せた船を助けるNGO団体『SOS Méditerranée（SOS地中海）』の共同設立者であり、会長のソフィー・ボー（Sophie Beau）さんにインタビューをした。

スプートニク：あなたたちが、海を渡ろうと挑戦するよう人々の背中を押している、という非難にはどうお答えしますか？

ソフィーさん：「多くの難民、移民は何があろうと、地中海を渡ろうと試みているなか、地中海には救助船が1つもなかった。まさにその瞬間、我々は欧州市民協会『SOS Méditerranée』の設立を決めた。それは、地中海での救助メカニズムが全く欠けていたためだ。我々は目の前で人々を見殺しにして、何もしないなんてことはできない。これは、法的、道徳的な義務であり、漁師として、そして人道的な労働者としての我々の義理だ。一方、EU諸国がこの救助に幅広い参加を取らないことは、全く受け入れがたいことだ。」

<http://sptnkne.ws/de3V>

ソチ沖で墜落した Tu-154 の 1 個目のブラックボックスが見つかる

(スプートニク 2016 年 12 月 27 日 19:35)

© AFP 2016/ Ekaterina Lyzlova М Ч С Р Ф 1/2 <https://goo.gl/yDUZ8Q>

ソチ沖で墜落した露軍機 Tu-154 型機の 1 個目のブラックボックスを潜水機ファルコンが発見した。露国防省が発表した。国防省の声明では、次のように述べられている—

「Tu-154 型機航空機事故の現場周辺では捜索が夜中もノンストップで続けられた。捜索活動は、主に墜落現場と思われる水域の海底の詳細な探査に集中して行われた。モスクワ時間 5 時 42 分（日本時間 11 時 42 分）に、岸から 1,600 メートル離れた深さ 17 メートルで、遠隔操作装置ファルコンによって主要なフライトレコーダーが見つかった。」

また国防省は、数時間以内にフライトレコーダーが解析に回されると伝えた。

<http://sptnkne.ws/de35>

イスラエル国防省、フランス在住のユダヤ人よ、帰国せよ！

(スプートニク 2016 年 12 月 27 日 20:46)

© Sputnik/ Maksim Blinov <https://goo.gl/l0Is4J>

イスラエルのアヴィグドール・リーベルマン国防相はフランス在住のユダヤ人らに対し即刻フランスを離れるよう呼びかけた。イスラエルの日刊英字新聞「エルサレム・ポスト」紙が報じた。「フランスにいるユダヤ人に告げる時が来た。これはあなた方の国でもあなた方の土地でもない。離れる時期が到来したのだ」。リーベルマン国防相のこの声明は、1 月にパリで行なわれる中東和平会議への準備を背景に表されたもの。リーベルマン国防相はこの会議を「イスラエルに反対する演説舞台」とこきおろした。中東和平会議の組織側はこれをパレスチナーイスラエル間の和平プロセス実現を促すものと位置づけているものの、イスラエル政権は交渉への参加を拒否し、フランスに対して開催を取りやめるよう呼びかけた。

<http://sptnkne.ws/deSG>

ナイジェリアで群衆が「自爆ベルト」が作動しなかった女性テロリストをリンチ

(スプートニク 2016 年 12 月 27 日 20:10)

© AFP 2016/ Brahim Adjil <https://goo.gl/WE1920>

ナイジェリアで、女性テロリストが自爆テロを起そうとしたが「自爆ベルト」が作動せず、群衆

がこの女性テロリストにリンチを加えた。デイリー・メール紙が報じた。

ナイジェリア北東部の中心都市マイドゥグリで月曜、女性2人が家畜市場で自爆テロを計画した。うち1人は爆発装置を作動させることができたが、もう1人の爆発装置は作動しなかった。これを見た群衆が女性テロリストを打ちのめし、テロリストは死亡した。

なおテロ攻撃の犠牲者については伝えられていない。

自爆テロについて今のところ犯行声明は出ていないが、治安機関はイスラム過激派組織「ボコ・ハラム」の犯行ではないかとの見方を示している。

<http://sptnkne.ws/de6R>

沖縄分離運動を中国が支援？ 公安調査庁が発表

(スポーツニク 2016年12月27日 23:55)

© AFP 2016/ Peter Parks <https://goo.gl/In0cm0>

日本の公安調査庁は、沖縄の日本からの分離運動を中国が支援しているとする報告書を表した。ブルームバーグが報じた。

公安調査庁の発表によれば、中国は大学及び調査センターを通じて沖縄の日本からの独立を目指して闘う集団とつながりを持ち、日本社会を分裂させ、親中国派の市民層を作ろうと画策している。この発表に対して中国外務省は一切コメントを表していない。

沖縄の日本からの独立を求める運動は1945年に開始された。琉球独立運動は1875年に日本に併合される前の琉球の復活を目指している。様々なデータによれば沖縄独立を支持しているのは地元民の35~45%。沖縄では島全体の17%にあたる土地が米軍基地として使われている。このため、こうした現状に反対して米兵の撤退を求める強力な運動体が存在している。

<http://sptnkne.ws/deN8>

2017年1月1日より露日両国民のビザ手続きが簡素化、ロシア外務省

(スポーツニク 2016年12月28日 01:32)

© AFP 2016/ Alexander Nemenov <https://goo.gl/YfREUw>

ロシア、日本の両国民にとって2017年1月1日から互いの国に渡航する際のビザ手続きが簡素化される。27日、ロシア外務省の発表したコメントの中で明らかにされた。ロシア外務省によれば、

ロシアと日本は2017年1月1日、双方の側から相互に両国民の渡航のビザ体制の簡素化に向けた同時進行の措置を開始する。

ロシア外務省の発表には「こうした相互の措置によってロシアと日本の両国民間のコンタクトが簡素化され、経済及び文化人道分野での互恵的な協力の拡大が促される」と記されている。

<http://sptnkne.ws/deHz>

真珠湾：倒されし敵はいかにして同盟国となったか？

(スプートニク 2016年12月28日 07:27 タチャナ・フロニ)

© REUTERS/U.S. Naval History and Heritage Command <https://goo.gl/ynoXlc>

暮れも押し詰まった今週、安倍首相は、今からちょうど75年前、1941年12月に日本が米海軍基地を奇襲攻撃したハワイを2日間、訪問している。この訪問の目的は、真珠湾で亡くなった2千5百人以上の米国人の慰霊とみなされている。

複数の専門家らは、今回の安倍首相の真珠湾訪問は、全く予想されたものだったと捉えている。今年5月、米国のオバマ氏は、現職大統領として初めて広島を訪れたが、まさにそれによって両国の最高首脳は、互いに日米軍事同盟の意義を確認したのである。

しかし、倒されし敵は、如何にして米国の主要な同盟者となったのだろうか？ 日本軍による真珠湾攻撃後、どのように戦略的同盟が築かれていったのか？ 何が、それに影響を及ぼしたのか？ こうした問いに対し、ロシア大統領府附属戦略調査研究所のイーゴリ・プシェニチニコフ所長顧問は、スプートニク記者のインタビューに次のように答えている—

「米国は、真珠湾での奇襲攻撃に仰天した。この作戦は、疑いなく、日本側に一時的な勝利をもたらした。しかしまもなく、ソ連の偉大な努力と膨大な犠牲のおかげで、戦いの趨勢は、反ヒトラー連合側に有利となった。その後、米国は、真珠湾での屈辱に対し日本に猛然と復讐したが、その時期までに軍国主義日本は、すでに疲弊し、事実上敗北しており、降伏まで残りわずかだった。それにもかかわらず、また戦略的必要性もないのに、米国は、広島と長崎に原子爆弾を投下した。米公式当局は、これまで原爆投下が持つ倫理的問題を提起してこなかった。米当局にとって、真珠湾攻撃が、原爆使用を倫理的に正当付けるものとなったのである。しかし当時すでに原爆の使用は、米国にとって遠い先を見通した野心的な計画だった。米国にとって最も有利な条件下で、日本に勝利するために必要だったのだ。ワシントンにとって何が得だったのか、それは、その後の歴史が納得できるように示したように、アジアにおける軍事的独占である。」

戦争は、単に終結しただけではなかった。1945年の日本の全面降伏後、米国は、日本国内での自分の立場をしっかりと強化し、何千人もの限定兵力を配備した。その結果、米国は、ソ連との冷戦に

対抗するため日本全体を不沈空母に変えたのである。「ソ連崩壊後でさえ、米国は、自分達のプランを変えなかった」—このように指摘したプシェニニコフ所長顧問は、次のように続けた—

「日本領内にある 94 の軍事基地は、アジア太平洋地域における米国の最も大きな軍事プレゼンスである。その際、日米安保条約は、日本にとって全く明白な隷属的性格を持っている。米国は、在日米軍基地を完全に自分達の判断で使用する権利を持ち、そこに必要とみなすあらゆるもの。米国防総省にとって必要な兵器や武器、部隊を置くことができる。このように日米安保条約では、米国は宗主国であり、日本はその家来、属国に過ぎない。」

ただ米国には、あらゆる侵略から日本を「守る」義務があるとされている。ロシアは日本を攻撃するつもりはないが、いつか米国が機を見て「北方領土」問題を、ロシアの東部国境に状況不安定化の温床を作り出すための切り札として用いないと、誰が約束できるだろうか。なぜなら、そうした事は世界の他の地域でもう、一度ならず起きているからだ。

プシェニニコフ所長顧問は、インタビューの最後に次のように述べた—

「日本に集結した米国の軍隊は、紙の上だけでは、日本人の利益を守るためのものとされている。しかしその本質は、ロシアに向けられたものだ。米国が『即応グローバルストライク』(PGS)兵器システムの開発と実現に力を入れている条件のもと、在日米軍基地が、そのゲームの中でも始動することは疑いない。それゆえ、ロシアがクナシリ、エトロフに最近『バスチオン』及び『バル』といった沿岸ミサイルシステムを配備したことは全く理に適っている。ロシアは、日本が文字通り、米軍基地でいっばいな条件のもと、対抗的防衛措置を取らざるを得なかったのだ。まして近く日本に、もうすぐ韓国に置かれることが決まっているような、米国の対ミサイル防衛システムが現れる可能性がある。」

真珠湾攻撃後、戦争末期に原子爆弾を投下された日本は、強制的な形で、米国にとってつい最近まで反ヒトラー連合の同盟国であったソ連に対する確実な軍事的進攻基地とならざるを得なかった。日本政府は、日本国内に対ミサイル防衛システムを置くべきか置かぬべきかという問題解決において、自分達が米国の対等なパートナーでは全くないことを、非常によく理解している。そうした状況は、1945年から現在に至るまで、実は変わっていないのである。

<http://sptnkne.ws/deSP>

安倍総理とオバマ大統領、真珠湾で慰霊

(スプートニク 2016年12月28日 09:14)

© AFP 2016/ TOSHIFUMI KITAMURA <https://goo.gl/IJUPBL>

ホワイトハウス発表によると、安倍晋三首相とオバマ米大統領はハワイ・真珠湾の追悼施設「アリゾナ記念館」で献花し、犠牲者を慰霊した。アリゾナ記念館は旧日本軍の攻撃を受けて沈没した

米戦艦アリゾナの上に建って、両首脳はアリゾナ記念館で献花し、黙とうをささげた。

1941年12月7日の旧日本空軍の攻撃の際、米戦艦アリゾナの1,177人が死亡した。真珠湾攻撃でのアメリカ側の2万4千人強の犠牲が出て、千人以上の負傷者もいた。真珠湾攻撃は米国が第二次世界大戦に参入した起点になった。

2016年6月のG7サミットの訪日の際にオバマ大統領は、米国によって原爆投下された広島のパネル公園を訪れ、現役米国大統領が初の訪問となった。今回の安倍総理の訪米はその対応策であると思われる。リア-ノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/deSS>

安倍総理、真珠湾でスピーチ

(スポーツニク 2016年12月28日 08:31)

◎ REUTERS/ Yuya Shino <https://goo.gl/OD2w0t>

安倍総理大臣はアリゾナ記念館でのスピーチで真珠湾攻撃について発言した。

- ・「厳粛な事実をかみしめるとき、私は言葉を失う」
- ・「この地で命を落とした人々の御霊に、哀悼の誠をささげる」
- ・「戦後70年間に及ぶ平和国家としての歩みに誇りを感じ、この不動の方針を貫く」
- ・「米国は日本が戦後再び、国際社会へと復帰する道を開いてくれた。米国が日本に示した寛容に心から感謝する」

と述べた。共同通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/deR7>

安倍総理、日米同盟について発言

(スポーツニク 2016年12月28日 08:40)

◎ AP Photo/ Marco Garcia <https://goo.gl/opdP0J>

安倍首相はアリゾナ記念の演説で、日米関係について「歴史にまれな、深く、強く結ばれた同盟国となった。希望の同盟だ」、「日米は、寛容の大切さと和解の力を世界に訴え続ける任務を帯びている」と述べた。共同通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/deSB>

オバマ大統領、真珠湾訪問は歴史的行動、と

(スプートニク 2016年12月28日 08:53)

© AP Photo/ Marco Garcia <https://goo.gl/RyIjv5>

安倍総理大臣に続いてオバマ米大統領は演説し、安倍首相の真珠湾訪問は日米両国の和解の力を示す「歴史的行動」だとたたえた。また、「日米は友情と平和を選択した」と述べ、日米同盟はかつてなく強固との認識を強調した。共同通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/deSX>

中国バブルは崩壊するのか？

(スプートニク 2016年12月28日 08:59)

© Fotolia/ SeanPavonePhoto <https://goo.gl/Sr1NRA>

中国経済は特色を持っている。中国ではますます頻繁に様々な金融バブルが起こっており、それは例えば不動産市場や金属市場で起きている。

金属市場の情勢は起きていることを最も鮮やかに説明する。例えば、11月末、産業用金属の相場は5月以来最安値まで崩落した。とはいえ、これは始まりに過ぎなかった。

中国の信用バブルは間もなく崩壊する可能性があるとの感触が強まっている。不動産市場のバブルもまた深刻な不安をもたらしている。金属市場のバブルはすでに、崩壊し始めているようだ。全てが下落しているとき、中国投資家が駆け込める唯一の場所になっているのはビットコインだ。

しかし中国指導部は、さらに低い成長率のもとでさえ、失業率の伸びを避けることに成功すれば、世界第2の経済の安定は保証されるとの結論に至った。

先に伝えられたところ、中国は米国との「貿易戦争」の可能性を認めた。

<http://sptnkne.ws/deS6>

クリル諸島の共同経済活動の決定は投資家の計画に依拠すべき、極東発展相

(スプートニク 2016年12月28日 09:44)

© Sputnik/ Iliya Pitalev <https://goo.gl/wbDUUA>

ロシア極東発展省のアレクサンドル・ガルシコ大臣はクリル諸島における共同経済活動について、

露日両首脳は投資家が諸島で実現を計画するプロジェクトに基づいて採られねばならないとの確信を表した。ガルシコ大臣は 27 日、ロシアのマスコミの記者らに対してこう語った。

「私の見解ではこの問題ではまず具体的なプロジェクトから出発すべきだ。我々は日本側とともにこうしたプロジェクトを形成すべきであり、しかもこうしたプロジェクトは省庁の執務室で思いつかれるものではなく、まず実際の意図、実際の関心、日本、ロシア双方の投資家らが実際に投資を行なう準備に基づいていなければならない。」

ガルシカ大臣は、クリル諸島において共同経済活動を開始する問題に取り組むという露日両首脳はブレクスルーかつ現時点における唯一確かな決定だと指摘している。

<http://sptnkne.ws/deTb>

今村復興相が靖国参拝 首相の真珠湾訪問直後に、関係あるか？

(スポーツニク 2016 年 12 月 28 日 14:08)

◎ 写真: Marko Kudjerski <https://goo.gl/RXOM0J>

今村雅弘復興相は 28 日午後 1 時、靖国神社（東京・九段北）を参拝した。共同通信が報じた。安倍晋三首相がオバマ米大統領と真珠湾攻撃の犠牲者を慰霊した直後の参拝で、疑問の声が上がる可能性もある。

今村氏は参拝後「1 年の仕事の報告と感謝に来た。仕事納めの日に来ようと決めていた」と記者団に述べた。参拝は単独で、一般客に交じって行った。参拝を決めたのは 1 週間ほど前だとし、「安倍首相の真珠湾訪問とはたまたま重なった。偶然だ」と強調した。

毎年行われる公人、政治家らの靖国神社の公式参拝はアジア諸国にとっては軍国主義の表れと受け止められている。靖国には様々な戦争で命を落とした 250 万人の日本兵、将校らが祀られており、これには第 2 次世界大戦後、裁かれた 14 人の戦犯も含まれている。

<http://sptnkne.ws/deUq>

中国空母の動向注視 首相、オバマ氏と最後の会談

(スポーツニク 2016 年 12 月 28 日 15:04)

◎ REUTERS/ Toru Hanai <https://goo.gl/ZmYvFR>

安倍晋三首相は日本時間 28 日午前、オバマ米大統領とハワイ・ホノルルの米太平洋軍司令部で会談し、西太平洋での中国空母の初航行について、中長期的観点からも動向を注視すべきだとの認識

で一致した。共同通信が報じた。

安倍首相は、オバマ氏が在任中の2014年、米大統領として初めて沖縄県・尖閣諸島について日本防衛義務を定めた日米安全保障条約第5条の適用対象だと明言したことは「力強い」として謝意を伝えた。

会談で両首脳は、中国空母の動向に絡んでインド洋と太平洋を自由で開かれた海域とし安定と繁栄を確保するため、インドやオーストラリアなど沿岸国との協力強化を図ることも申し合わせた。首相は自ら掲げた「積極的平和主義」と、オバマ氏のアジア重視戦略「リバランス」との連携が日米同盟の強化につながったと評価した。

双方は、北朝鮮の核・ミサイル問題で国連安全保障理事会が採択した新たな制裁決議の履行に向けて協力する方針で一致した。TPPはトランプ氏の離脱表明で先行きが不透明になる中、首相は自由貿易体制を後退させてはならないとしてトランプ次期政権に粘り強く働き掛ける考えを示した。

両氏の在任期間が重なる過去4年間で、正式な会談は9回目。オバマ氏は来年1月のトランプ政権発足で退任するため、最後の首脳会談となった。

<http://sptnkne.ws/deX3>

露外務省:ロシアには日本とのビザなし制度導入の準備がある

(スプートニク 2016年12月28日 17:37)

© AFP 2016/ Joel Saget <https://goo.gl/hCLjly>

ロシア外務省の公式サイトで、露日市民のビザ手続きの相互緩和に関するプレスリリースが掲載された。発表では、ロシア側にはビザ免除制度にまで至る、更なるビザ制度の自由化に関する共同作業再開の用意があると強調されている。

発表には、2017年1月1日からロシアと日本によって、両国の国民の渡航のためのビザ要件の緩和に向けられた、同期的措置が相互に取られると書かれている。

このような決定は12月15日、16日に行われたハイレベル露日会談の枠組みで、広い範囲でのロシアと日本の相互に有益な関係強化を目的として取られた。

日本国民には、観光ビザは最長6ヵ月の期限の数次ビザ、個人ビザは最長1年の期限の数次ビザ、ビジネスや文化交流ビザは最長5年の期限の数次ビザが発給される。

日本側からの情報によると、ロシア国民には、商用や文化人・知識人に対する、滞在期間が最長

90 日の短期滞在数次ビザの有効期限が最長 5 年に延長される。また、観光などを目的とする短期滞在ビザが有効期限 3 年で滞在期間が最長 30 日の数次ビザが発給される。さらに、自己支弁による渡航の場合、身元保証書などの提出書類が省略される。

ロシア外務省の発表ではまた、ロシア側には、両国国民の相互旅行の際のビザ免除までに至る、更なるビザ制度の自由化に関する共同作業再開の準備ができており、先に日本側に提出された、この点に関する合意計画の建設的な審議の用意がある。

<http://sptnkne.ws/deWN>

米務省、米国はダーイシュを支持とのエルドアン大統領の声明に反応

(スプートニク 2016 年 12 月 28 日 21:19)

© AFP 2016/Adem AltanCSPAN (Screenshot) 1/2 <https://goo.gl/4wdKTD>

米務省は、米国はシリアでのテロリストを支援していると非難したトルコのエルドアン大統領の声明にコメントした。

先にエルドアン大統領は、ダーイシュ（イスラム国、I S）を含むシリアでのテロ組織に対する、米国が主導する有志連合からの支援の証拠があるとの声明を出した。大統領はまた有志連合を、義務を果たしていないと非難した。

米務省のマーク・トナー報道官は次のように指摘した。

「これは馬鹿げた声明だ。」

米国への非難は、シリアのアサド大統領も行った。アサド大統領によると、パルミラを占拠した戦闘員たちは、「米国の直接的な支援か、最良の場合でも、米国の同意のもと」同市に到着した。

<http://sptnkne.ws/deZr>

米国、ドゥテルテ政権の転覆希求を否定

(スプートニク 2016 年 12 月 28 日 19:52)

© AFP 2016/ Manman Dejeto <https://goo.gl/9ehtcZ>

在マニラ米大使館はフィリピンのドゥテルテ政権転覆を画策する密約が存在するという情報を否定した。地元の TV 「ABS-CBN」が報じた。

米大使館のモリー・コシナー広報官は「ケリー米務長官が7月にドゥテルテ氏と会談した際述べたように、米国はフィリピンの主権とフィリピン国民の民主主義的な選択を尊重している」との声明を表した。

これに対してフィリピン大統領府のアベリア報道官は「米務省は類似したこと、これに似たことへの関与を計画していた事実を否定している」とする声明を表した。報道官はまた、ドゥテルテ大統領はクーデターを恐れないと指摘し、その理由を「フィリピン国民はドゥテルテ氏が国のために行っていることを評価しているから」と説明した。

これより前地元紙の「フィリピン・タイムズ」は匿名の消息筋からの情報として、フィリップ・ゴールドバーグ前米大使はドゥテルテ氏の地位を無効にし、その後政権を転覆させる計画を後任に残したと報じていた。

これより前、フィリピンのドゥテルテ大統領は、米国のフィリピンへの支援停止に関する計画を激しく批判した。

<http://sptnkne.ws/df5>

テロリストらが在シリア露大使館を砲撃

(スプートニク 2016年12月29日 02:05)

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <https://goo.gl/9rg0AC>

シリアのダマスカスにある露大使館が、テロリストらの砲撃を受けた。ロシア外務省が発表した。露外務省の声明では、次のように述べられている—

「12月28日、在シリア露大使館が再びテロリストらによる砲撃を受けた。砲弾1発は幸いなことに爆発せず、露大使館の行政担当施設構内に落下した。2発目は、敷地のすぐ近くに（落下した）。」

<http://sptnkne.ws/dfr3>

仏英 国連安保理に制裁を含むシリアでの化学兵器使用に関する決議案を提出

(スプートニク 2016年12月29日 06:13)

© Sputnik/ Khaled Al-Khateb <https://goo.gl/my50x5>

国連安全保障理事会メンバーのフランスと英国は、シリアでの化学兵器の使用に関する決議案を提出した。同決議案は、シリアに対する一連の制裁を規定している。AP通信が文書を引用して伝

えた。決議案では特に、シリアへのヘリコプターの供与が禁止されている。化学兵器禁止機関（OPCW）の専門家らの情報によると、ヘリコプターから化学兵器による攻撃を行うことができるという。

またヘリコプター用の部品の供与も禁止される可能性があるほか、シリアの11人の個人と10の団体に対する制裁の実施も定められている。制裁リストに加えられたシリア市民は、同国から去ることを禁止される可能性がある。決議案の作成者らによると、シリアは2013年に同国に存在する化学兵器について不完全な申告を行った。シリアは新たな文書を期限内（30日）に準備しなければならないという。これより先、国連は国内でたびたび化学兵器を使用したとしてシリア当局を非難した。

<http://sptnkne.ws/dfy8>

ロシア人ビジネスマン、徳島へ行く：日露ビジネスを助ける要素とは何か？

（スプートニク 2016年12月29日 07:17 徳山あすか）

○ 写真：四国化工機株式会社 <https://goo.gl/ikYDe6>

ロシアと日本は来年1月1日から、互いの国の国民に対するビザ発給要件を緩和する。日本からロシアにビジネス目的で行くにあたっては、最長5年間の数次ビザが新たに発給されることになる。ロシア外務省は、経済交流の拡大を期待しており、ビザ免除制度について協議する用意もある。ビザ免除はロシアでビジネスを行う日本企業にとっても長年の悲願だ。日本人とロシア人の活発な往来は、経済協力を加速させるだろう。

実際のところビジネスの現場では、人的往来はどのような効果をもたらしているのだろうか。飲料パックの世界的ブランド「エロパック」の、ロシアにおけるビジネスを例にとってみよう。エロパック・ロシアはサンクトペテルブルグに生産工場をもち、年間10億もの飲料パックを生産している。先日、エロパック・ロシアの担当者は、4人のクライアントとともに徳島県を訪れた。四国化工機株式会社を訪問し、同社の充填機を視察するためである。

エロパックは、飲料の包装を作るだけではなく、中身を入れる充填機の販売も行っているのだ。日本で四国化工機といえば、牛乳などの屋根型紙パックに対応した充填機においてシェアトップを占めている。4人のクライアントのうち2人は、最近四国化工機の充填機を導入した会社の代表者だ。エロパックはグローバルなメーカーとして、様々な種類の充填機を扱っている。数ある競合の中で、日本メーカーはどのように健闘しているのか。日本メーカーの改善点をエロパック・ロシアのアンジェリカ・フェドセーエワ販売部長に聞いてみたが、答えは明解だった。

フェドセーエワさん：「四国化工機の製品は車で言えばメルセデス・ベンツのようなものです。つまりこれより良い製品というのは世界中に存在しないし、不満な点は一切ありません。しかしロシアの飲料メーカー全てがベンツを必要としているわけではありません。小さい会社もたくさんありますので、色々なラインナップを揃えていないといけません。」

四国化工機の充填機は競合社に比べると値が張るため、ロシアの飲料工場は検討に時間を要するが、稼動している様子を実際に目にしてみると、大きく心が揺るがされるという。また、日本のスーパーマーケットで商品を見るのも楽しく、ロシア人にとっては色々な発見がある。ヨーグルトひとつをとってみても包装形態のバリエーションがとても多いのだ。エロパック・ロシアの社員らは、「もっと視察に行きたいが、日本への出張は非常にお金がかかるため、なかなか許可が出ない」と口を揃える。日本への視察に同行したアレクセイ・ソロヴィヨフ部長代理は、経済協力のあり方について次のように話している。

ソロヴィヨフさん：「クライアントが日本にいきなり視察に行くのは、モチベーションの意味でも資金の面でも基本的に難しいことです。日本が、日露経済協力を支援するという話がありますが、それならばイベント開催を提案したいと思います。ただ製品を見せるというのではなく、製造から物流、販売まで、一連の流れがイメージできるような、コンセプトをもった展示会が必要です。そのようなイベントをロシア各地で開き、私たちが集客すれば、来場者の中から日本へ視察へ行きたいという人たちが出てくるはずですよ。段階を踏んで商品について知ってもらうことで、更なる販売につながるでしょう。」

日本企業が注目しているのは、ファイナンスシステムにおける日露間の協力だ。四国化工機株式会社・国際部の秦義典（はた・よしのり）部長は、「融資決裁の迅速化や融資枠の拡大など、ロシア企業にとって使い易いファイナンスが確立されれば、設備投資が増えて、日本製品導入の後押しになると思います」と話している。

日本の視察では、困ったこともあった。フェドセーエワさんもソロヴィヨフさんも日本はものすごく先進的な国だというイメージを持っていたので、どこでもカードが使えると思い、あえて現金を持っていかなかったのだ。いくつかの店ではカードが使えず、仕方なく現金を引き出そうとすると、今度はATMが英語に対応していなかった。言葉の壁は非常に高く、英語を話せる人が街中にほとんどいなかったため、意思疎通は大変だった。しかし、日本人の「助けよう」という気持ちのおかげで、何とかなったという。

フェドセーエワさん：「日本人はいつも、何かしていますね。自分の周りを飾る、というほどではないのですが、例えば自分の店があるとする、その前の道路も一緒に掃除したり、草木の手入れをしたりしています。日本人とは、自分の仕事の意味を理解し、常に何かを改善しようとしている人たちだと思います。日本の国土は狭く、都会だと群衆の中に巻き込まれるのかと思っていました。しかし東京でも京都でも、人は確かに多いのですが、人の動線も交通の流れもきちんとしていて、快適さを感じました。モスクワの渋滞に慣れている身としては、日本にはなぜ渋滞がないのか不思議です。職業柄、いつも包装に目がいきます。日本では何かを買うととても綺麗に包んでくれるので、気に入りました。」

<http://sptnkne.ws/dfwU>

ベルリン・クリスマスマーケットテロの容疑者、事件の直前に送信したメッセージが掲げたー雑誌 (スポーツニク 2016年12月29日 07:45)

© AP Photo/ Markus Schreiber <https://goo.gl/TPzewM>

ドイツ有力誌シュピーゲル電子版は28日、ベルリンのトラック突入テロの実行犯アニス・アムリ容疑者のテロの直前にスマートフォンの通信アプリで送信していたメッセージについて報じた。

「全てが順調だ。今は車内にいる。私のために祈れ」という内容である。

それに加えて、アムリ容疑者はトラック内の写真も送信し、捜査当局が宛先を特定している中。宛先の人物がテロ計画を事前に把握していた可能性がある共同通信が報じた。

一方、同誌はクリスマス・マーケットを暴走中のトラックが突然停止し、さらなる被害の拡大が防がれたのは、車載の事故防止システムが作動したためだった可能性が高いと伝えた。

シュピーゲルによると、容疑者が乗っ取って犯行に使用したトラックは、車載カメラなどで障害物を認識すると警告を発し、運転手が反応しない場合は自動的に停止する仕組みになっていた。

<http://sptnkne.ws/dfwT>

釜山の日本総領事館の前に慰安婦像の設置、擾乱を起こらせた 【動画】

(スポーツニク 2016年12月29日 08:22)

© AFP 2016/ Jung Yeon-Je <https://goo.gl/B0DQdN>

韓国南部の釜山市中心部にある在釜山日本総領事館前の路上に28日、学生や市民団体が従軍慰安婦の被害を象徴する少女像を設置した。共同通信が報じた。

動画 <https://youtu.be/oyguCnl4hE>

30～40人の市民団体メンバーらが周囲に座り込んだが、像の設置は法律上に違反になったので、約4時間後に像が撤去された。設置を試みた学生らは28日夜、総領事館付近で集会を開き「少女像は必ず総領事館前に建てなければならない」と主張。また、撤去については「政府が少女像を撤去しようとするなら、新たな像を建て、守る活動を展開する」と語った。

先に伝えられたところによると、戦中、日本軍が、朝鮮をはじめとするアジア諸国で行った強制的売春制、いわゆる慰安婦問題は、ここ数年、日韓関係の障害となっていた。昨年末、両国は、日本が元慰安婦のための基金に10億円を拠出するとの合意を結び、慰安婦問題は両国関係の中で二度と再び取り上げられることはない、ということ約束しあった。また日本側は、ソウルの日本大使

館の前に設置された慰安婦記念碑の撤去を求めた。

<http://sptnkne.ws/dfxj>

稲田朋美防衛相は、東京・九段北の靖国神社を参拝した

(スポーツニク 2016年12月29日 09:51)

◦ AP Photo/ Shuji Kajiyama <https://goo.gl/m6nnlI>

稲田防衛大臣は29日午前、防衛大臣として初めて、東京・九段の靖国神社に参拝したと共同通信が伝えた。

NHKニュースによると、稲田防衛大臣は毎年、東京・九段の靖国神社に二回、会長を務める党の議員グループとともに参拝する。今年の8月に防衛大臣として13日からアフリカのジブチを訪れ、ソマリア沖の海賊対策のために派遣されている海上自衛隊の部隊を視察し、終戦の15日に参拝しなかったことから稲田大臣は29日午前、靖国神社に参拝することになった。

参拝後、記者団に「防衛大臣稲田朋美と記帳した。防衛大臣である稲田朋美が一国民として参拝したということだ」と述べた。共同通信が伝える。

稲田氏は「今の平和な日本は、国のために命をささげられた方々の尊い積み重ねの上にあるということを忘れたことはない」とも語った。

先に伝えられたところによると、毎年行われる公人、政治家らの靖国神社の公式参拝はアジア諸国にとっては軍国主義の表れと受け止められている。靖国には様々な戦争で命を落とした250万人の日本兵、将校らが祀られており、これには第2次世界大戦後、裁かれた14人の戦犯も含まれている。

<http://sptnkne.ws/dfxt>

ロシアがどれくらい寒いのかあらためて考えてみる：超極寒地に行きたい若者たちの挑戦

(スポーツニク 2016年12月29日 09:10 徳山あすか)

◦ 写真: Maarten Takens <https://goo.gl/a8xvFv>

人が定住している場所のうち、地球上で最も寒い場所、それはロシア連邦サハ共和国にある、オイミヤコンだと言われている。ちなみにこの原稿を書いている28日時点で、オイミヤコンの気温はマイナス50度である。2012年のデータによると、オイミヤコンには512人の人が定住している。

オイミヤコンがどれくらい寒いのかについては諸説ある。非公式の記録によれば、1938年に記録したマイナス77.8度というのが一番寒いようだ。（公式記録はマイナス71.2度）日本では、テレビで何度か放送されたこともあり、オイミヤコンという名称はある程度有名になったが、ロシア人の若い同僚たちに聞いてみると、「オイミヤコン？ 知りません」という反応が返ってきた。というのは、ロシアにはオイミヤコンレベルで寒い場所はざらにあるのだ。例えば北極圏出身の同僚は、マイナス50度でも普通に学校に通っていた。しかしある年の1月は特別寒く、1ヵ月で80人がバスの中で凍死してしまったという。バスは普通暖房がきいているものだが、うっかり寝入ったり、すきま風のあたる場所にいると命の危険がある。同僚は「地元でマイナス50度はけっこう普通です。モスクワでマイナス20度になる方が寒いですよ」と話す。なぜか体感温度が違うのだという。筆者には、もはやレベルが高すぎてよくわからない世界だ。

ともかく、極寒の地のひとつであることは間違いないオイミヤコンに、来年の2月に行きたいという情熱をもつ、ロシア人と日本人の青年がいる。ロシア人がオイミヤコンに行くのは、いわば国内旅行なので普通のような気もするが、彼は生後まもなく日本に引越し、日本で育ったので、自身を「日本内ロシア人」と位置づけている。彼らは友人同士だ。二人で、未知なる世界オイミヤコンに滞在することを夢見ているのだ。

日本からオイミヤコンへのアクセスはもちろん容易ではない。そこで彼らはクラウドファンディングを利用し、渡航費用を集めている。彼らはこの渡航を通して、地球の神秘や大自然、生命の素晴らしさ、そして生きることの本当の豊かさを日本に伝えたいという。彼らの旅の目的を詳しく知りたい人は、こちらのサイトからアクセスできる。→ <https://goo.gl/RhzchR>

<http://sptnkne.ws/dfx5>

トランプ氏、オバマ大統領が権力の移行妨害と非難

（スプートニク 2016年12月29日 10:05）

◎ REUTERS/ Carlo Allegri <https://goo.gl/27hYck>

トランプ次期大統領は、オバマ現大統領が「円滑な」権力の移行を妨害しているとして非難した。「O（訳注：オバマ）大統領からの多数の挑発的な声明や妨害を気にしないようベストを尽くしている。円滑な移行になると考えられていたが、ちがう！」とトランプ氏はツイッターに書き込んだ。

Doing my best to disregard the many inflammatory President O statements and roadblocks. Thought it was going to be a smooth transition - NOT!

twitter.com/ <https://goo.gl/F8aSCb>

<http://sptnkne.ws/dfxK>

韓国政府、稲田防衛相の靖国神社の参拝を非難

(スプートニク 2016年12月29日 11:45)

© AFP 2016/ Kazuhiro Nogi <https://goo.gl/PHYWMO>

聯合ニュースによると、稲田朋美防衛相が29日午前、東京・九段北の靖国神社を参拝したことについて、韓国政府は外交ルートで日本政府に抗議する方針だ。

韓国の外交部当局者はこの日、「対応を検討している」と述べた。同部は在韓日本大使館の関係者を呼んで抗議する方向で検討しているとされる。

共同通信によると、韓国外務省は29日、稲田朋美防衛相が靖国神社を参拝したことについて「嘆かわしいとの感を禁じ得ない」と批判する報道官論評を発表した。韓国国防省も「深刻な憂慮と遺憾を表す」と明らかにした。

先に、安倍首相は稲田防衛相の参拝について「ノーコメントです」と述べた。

先に伝えられたところによると、28日、韓国の釜山で日本総領事館の前で慰安婦像の設置を巡る擾乱が起こった。

<http://sptnkne.ws/dfyF>